

第 1 章

母子保健統計

## 本書で用いる用語の説明

$$1 \quad \text{出生率} = \frac{\text{1年間の出生数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$2 \quad \text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{ 15歳から49歳までの合計}$$

$$3 \quad \text{妊産婦死亡率} = \frac{\text{妊産婦死亡数}}{\text{出産(出生数+死産数)数}} \times 100,000$$

死産とは妊娠満12週(第4月)以後のものをいう。  
妊産婦死亡は、妊娠中又は妊娠終了後満42日未満のものをいう。

$$4 \quad \text{乳児死亡率} = \frac{\text{1歳未満の死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$5 \quad \text{新生児死亡率} = \frac{\text{生後4週(28日)未満の死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$6 \quad \text{早期新生児死亡率} = \frac{\text{生後1週未満の死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$7 \quad \text{周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数}}{\text{出産(出生数+妊娠22週以後の死産数)数}} \times 1,000$$

$$8 \quad \text{死産率(自然死産率・人工死産率)} = \frac{\text{死産(自然・人工)数}}{\text{出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

死産とは妊娠満12週(第4月)以後のものをいう。人工死産は人工妊娠中絶のうち、妊娠満12週(第4月)から妊娠22週(第6月)未満のものをいう。

$$9 \quad \text{妊娠満22週以後の死産率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数}}{\text{出産(出生数+妊娠22週以後の死産数)数}} \times 1,000$$

$$10 \quad \text{人工妊娠中絶実施率} = \frac{\text{人工妊娠中絶総件数}}{\text{15歳以上50歳未満女子総人口}} \times 1,000$$

$$11 \quad \text{20歳未満人工妊娠中絶実施率} = \frac{\text{20歳未満の人工妊娠中絶件数}}{\text{15歳以上20歳未満女子総人口}} \times 1,000$$

# I 母子保健に関する統計

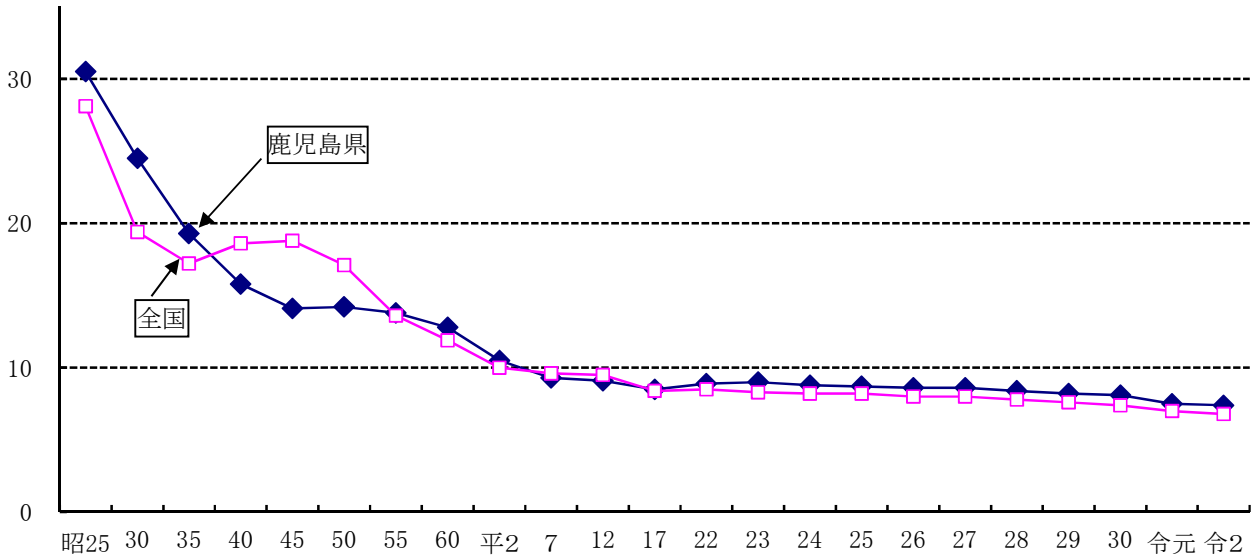
# 1 出生

## (1) 出生数・率

本県の令和2年の出生数は11,638人で、令和元年の11,977人より339人減少し、出生率は7.4であった。  
また、1人の女性が一生に生む子どもの数を表すといわれる合計特殊出生率は、令和2年は1.6となっている。

人口千対

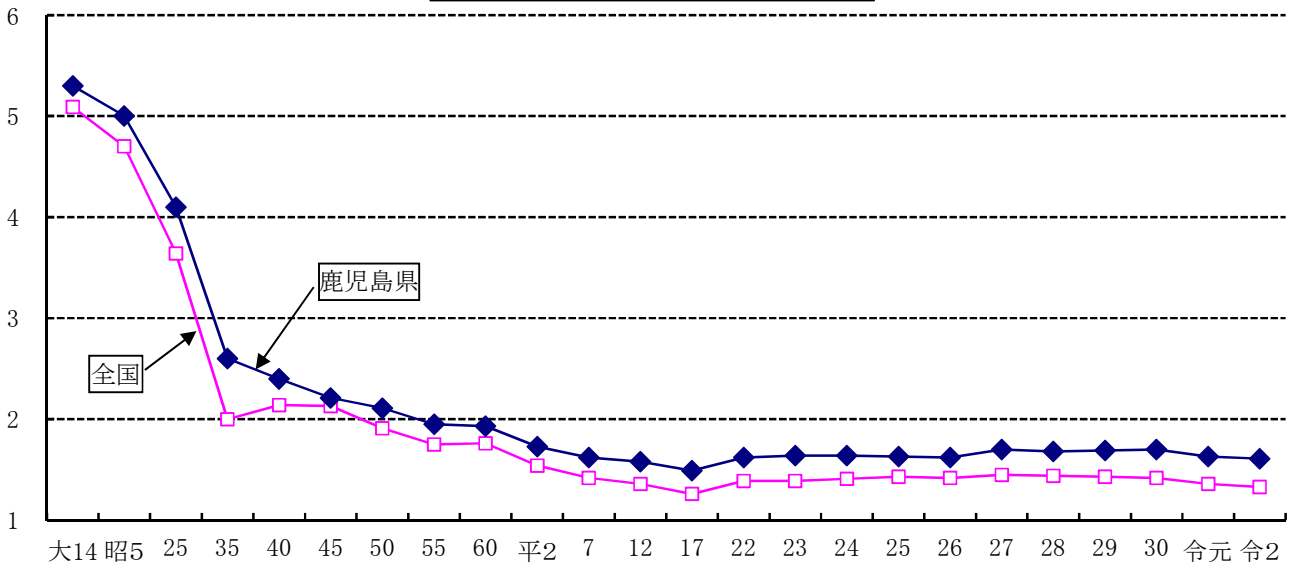
図1 出生率の年次推移



年次	昭25	30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元	令2
鹿児島県	30.5	24.5	19.3	15.8	14.1	14.2	13.8	12.8	10.5	9.3	9.1	8.5	8.9	9.0	8.8	8.7	8.6	8.6	8.4	8.2	8.1	7.5	7.4
全国	28.1	19.4	17.2	18.6	18.8	17.1	13.6	11.9	10.0	9.6	9.5	8.4	8.5	8.3	8.2	8.2	8.0	8.0	7.8	7.6	7.4	7.0	6.8

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図2 合計特殊出生率の年次推移



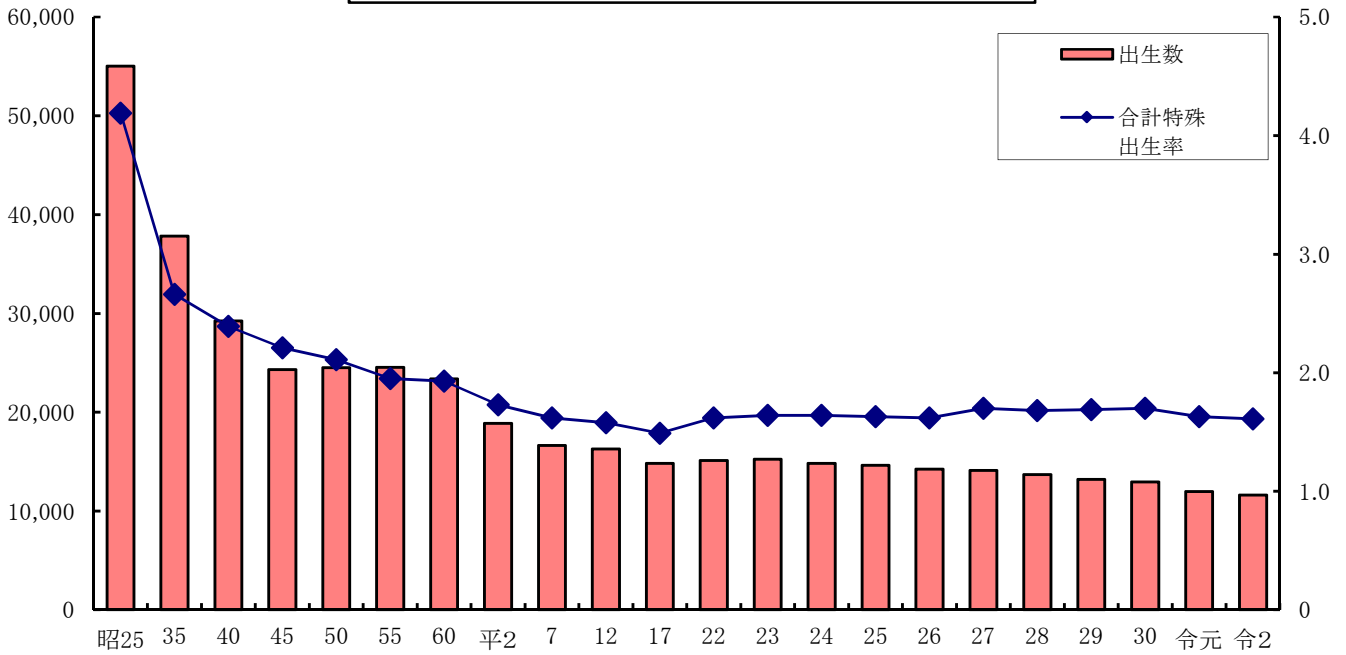
年次	大14	昭5	25	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元	令2
鹿児島県	5.3	5.0	4.1	2.6	2.4	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6
全国	5.1	4.7	3.6	2.0	2.1	2.1	1.9	1.8	1.8	1.5	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3

資料:本県「衛生統計年報」、厚生労働省「人口動態統計」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2009」(大14～昭25)

(出生数:人)

図3 出生数と合計特殊出生率の年次推移(本県)

(合計特殊出生率)

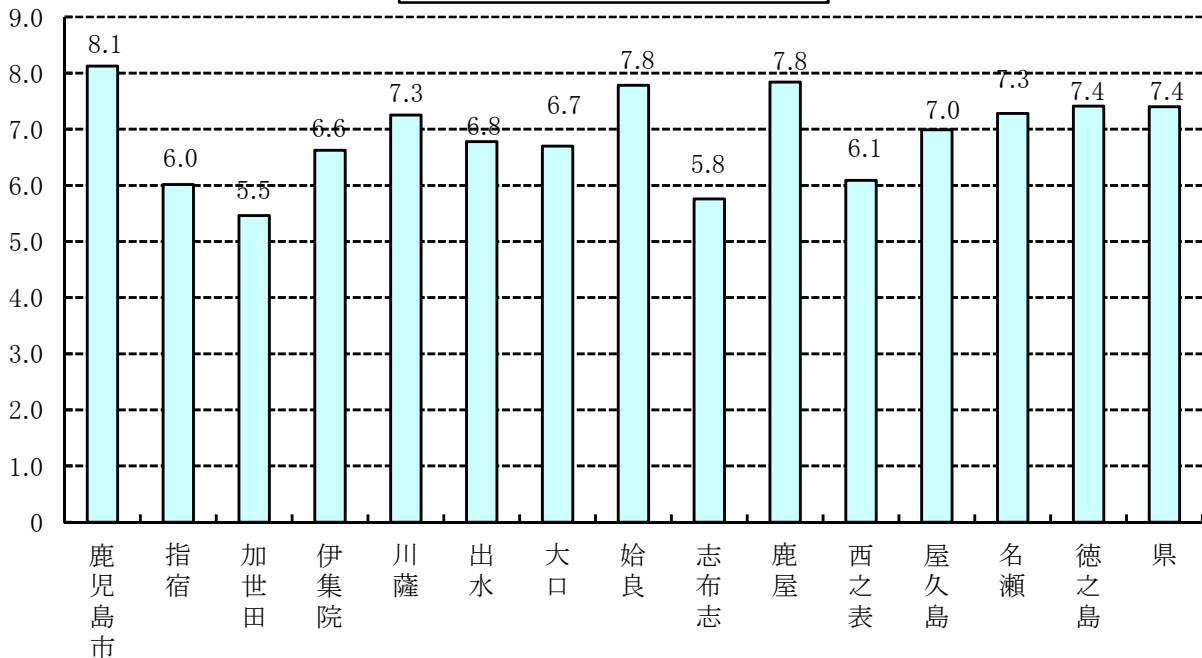


年次	昭25	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元	令2
出生数	55,038	37,821	29,243	24,311	24,521	24,540	23,375	18,892	16,649	16,272	14,834	15,124	15,244	14,841	14,637	14,236	14,125	13,688	13,209	12,956	11,977	11,638
合計特殊出生率	4.2	2.7	2.4	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

人口千対

図4 令和2年保健所別出生率



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
出生数	4,788	229	456	493	803	536	159	1,614	418	1,145	165	81	469	282	11,638
出生率	8.1	6.0	5.5	6.6	7.3	6.8	6.7	7.8	5.8	7.8	6.1	7.0	7.3	7.4	7.4

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

(2) 出生順位別出生割合

生まれた子はその母親の何番目の子にあたるかについて見てみると、本県では昭和30年には第3子以上が全出生数の55.0%を占めていたが、その後減少傾向となり、平成17年が18.7%と最も低かった。その後、微増し令和元年には24.7%となった。

図5 昭和30年出生順位出生割合

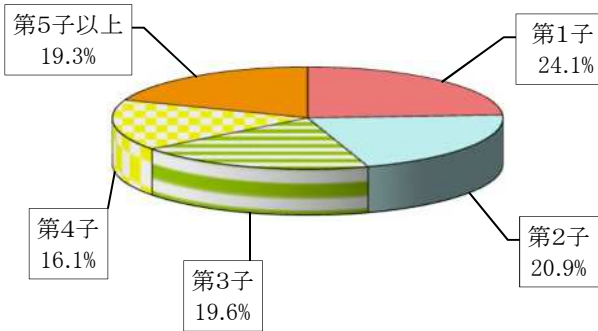
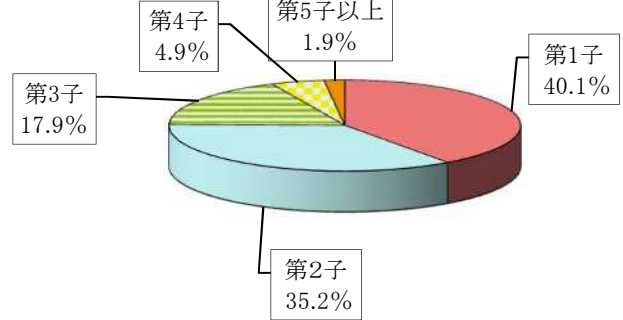


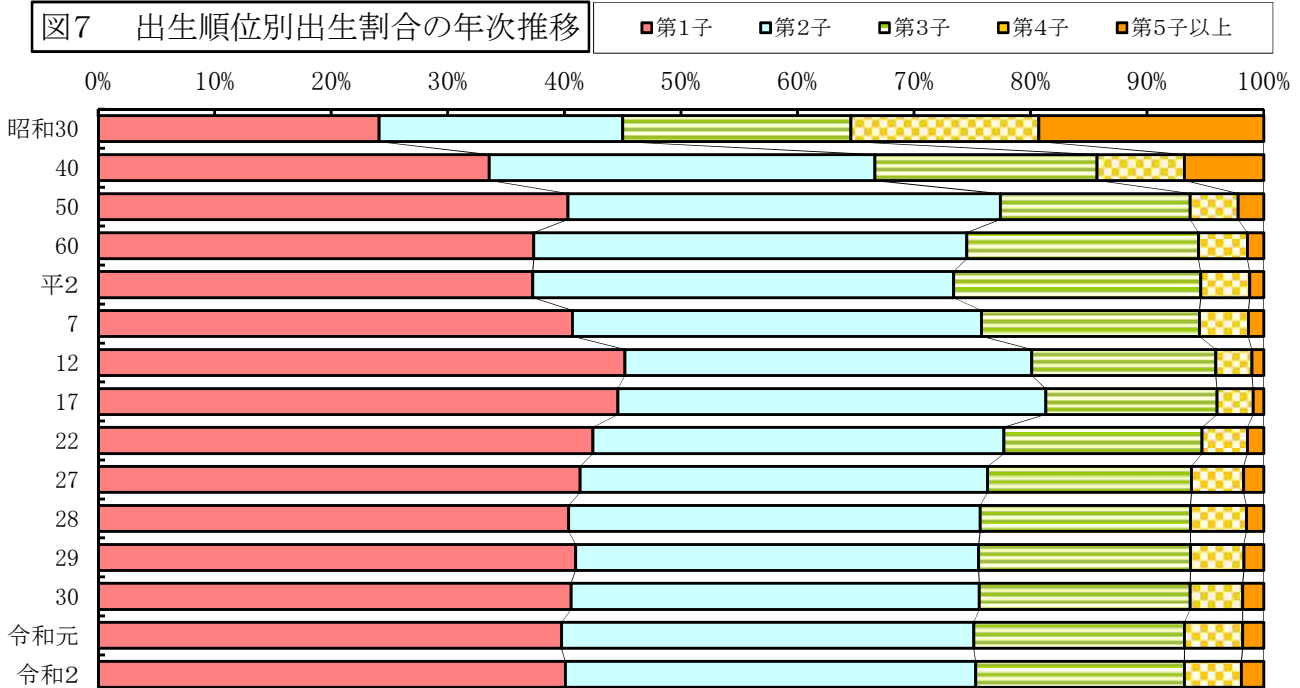
図6 令和2年出生順位出生割合



年次	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和30	12,059	24.1	10,425	20.9	9,773	19.6	8,069	16.1	9,653	19.3
40	9,814	33.6	9,687	33.1	5,575	19.1	2,183	7.5	1,984	6.8
50	9,883	40.3	9,098	37.1	4,003	16.3	1,011	4.1	526	2.2
60	8,731	37.4	8,697	37.2	4,639	19.9	975	4.2	333	1.4
平2	7,053	37.3	6,815	36.1	4,012	21.2	789	4.2	223	1.2
7	6,765	40.7	5,843	35.1	3,109	18.7	710	4.2	222	1.3
12	7,357	45.2	5,681	34.9	2,560	15.8	506	3.1	168	1.0
17	6,615	44.6	5,444	36.7	2,175	14.7	456	3.1	144	0.9
22	6,428	42.5	5,334	35.3	2,570	17.0	586	3.9	206	1.4
27	5,842	41.4	4,947	35.0	2,470	17.5	631	4.5	235	1.7
28	5,525	40.4	4,834	35.3	2,468	18.0	660	4.8	201	1.5
29	5,411	41.0	4,569	34.6	2,399	18.2	606	4.6	224	1.7
30	5,261	40.6	4,532	35.0	2,347	18.1	580	4.5	236	1.8
令和元	4,769	39.8	4,240	35.4	2,165	18.1	593	5.0	210	1.8
令和2	4,671	40.1	4,099	35.2	2,078	17.9	569	4.9	221	1.9

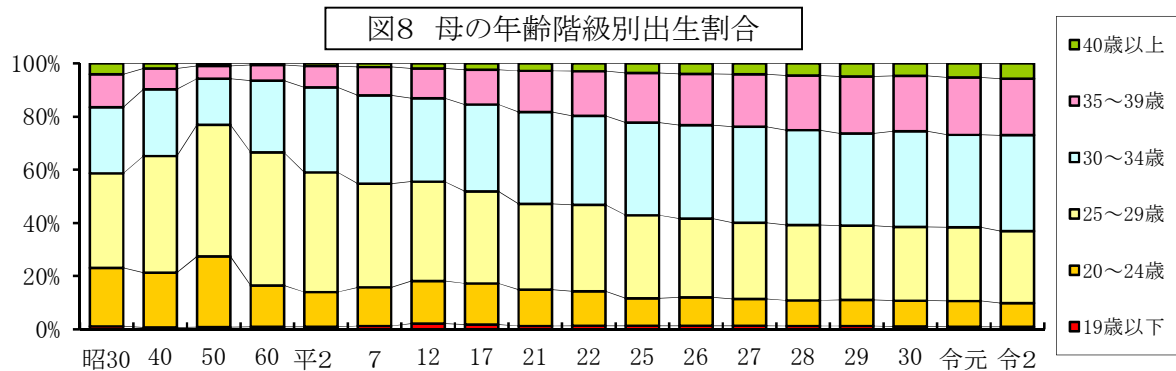
資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図7 出生順位別出生割合の年次推移



### (3) 母の年齢階級別出生割合

令和2年の母の年齢階級別出生割合は、本県では27%が35歳以上であり、国の29.2%に比べると低いが、増加傾向にある。



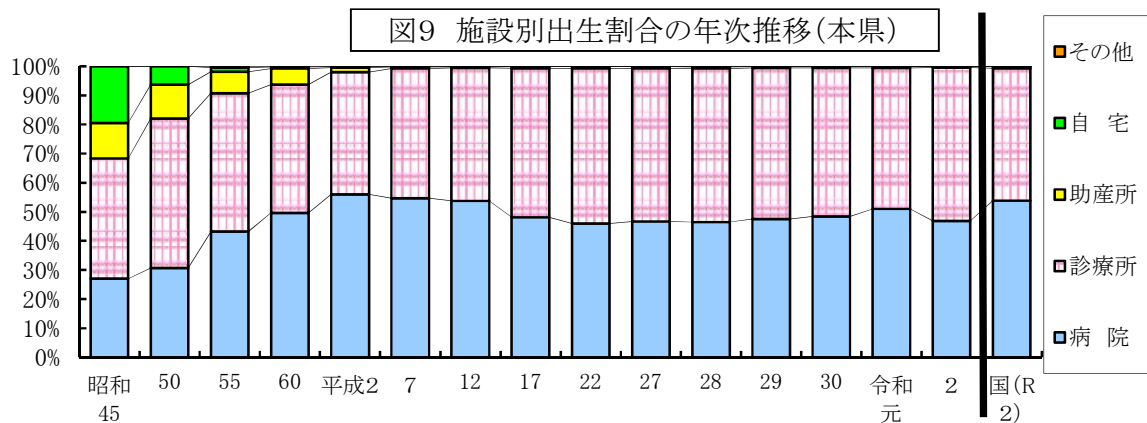
(単位 %)

	昭30	40	50	60	平2	7	12	17	21	22	25	26	27	28	29	30	令和元	令和2	国(令和2)
40歳以上	4.0	1.9	0.9	0.6	1.0	1.4	1.9	2.3	2.8	2.9	3.6	3.9	4.0	4.6	4.9	4.7	5.2	5.7	5.9
35～39歳	12.5	7.9	4.8	5.9	8.0	10.6	11.2	13.1	15.5	16.8	18.7	19.3	19.9	20.5	21.4	20.8	21.7	21.3	23.3
30～34歳	24.8	25.2	17.3	27.0	32.0	33.3	31.3	32.8	34.6	33.4	34.8	35.1	36.1	35.8	34.8	35.9	34.7	36.0	36.1
25～29歳	35.6	44.0	49.5	50.0	45.0	39.0	37.5	34.5	32.2	32.5	31.2	29.7	28.7	28.4	27.9	27.8	27.8	27.1	25.9
20～24歳	21.9	20.7	26.6	15.6	13.1	14.5	16.0	15.5	13.6	12.9	10.3	10.6	10.0	9.6	9.9	9.8	9.7	8.9	7.9
19歳以下	1.1	0.7	0.8	0.9	0.9	1.3	2.1	1.8	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.0	0.9	0.9	0.8

資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

### (4) 施設別出生割合

令和2年は本県でも全国と同様に病院・診療所における出生が99.6%と大部分を占めている。なお、助産所・自宅での出生が極少数となっている。



年次	出生数	病院		診療所		助産所		自宅		その他	
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和45	24,311	6,552	27.0	10,085	41.4	2,960	12.2	4,714	19.4	-	-
50	24,521	7,516	30.7	12,622	51.4	2,846	11.6	1,537	6.3	-	-
55	24,540	10,615	43.2	11,670	47.6	1,803	7.3	356	1.5	96	0.4
60	23,375	11,825	50.6	10,526	45.0	853	3.6	130	0.6	41	0.2
平成2	18,892	10,588	56.0	7,929	42.0	290	1.6	51	0.3	18	0.1
7	16,649	9,099	54.7	7,430	44.6	76	0.5	36	0.2	8	0.0
12	16,272	8,746	53.8	7,445	45.8	47	0.3	24	0.1	10	0.1
17	14,834	7,140	48.1	7,604	51.3	72	0.5	15	0.1	3	0.0
22	15,124	6,956	46.0	8,057	53.3	94	0.6	15	0.1	2	0.0
27	14,125	6,595	46.7	7,426	52.6	89	0.6	12	0.1	3	0.0
28	13,688	6,355	46.4	7,234	52.8	71	0.5	25	0.2	3	0.0
29	13,209	6,274	47.5	6,864	52.0	53	0.4	14	0.1	4	0.0
30	12,956	6,280	48.5	6,604	51.0	56	0.4	11	0.1	5	0.0
令和元	11,977	6,103	51.0	5,817	48.6	44	0.4	11	0.1	2	0.0
2	11,638	5,451	46.8	6,140	52.8	35	0.3	6	0.1	6	0.1
国(R2)	840,835	452,735	53.8	382,769	45.5	4,103	0.5	937	0.1	291	0.0

資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

注) 昭和45年, 50年の「自宅」の数は、「自宅及びその他」の合計数である。

## 2 妊産婦死亡

全国的にみると、若干の変動はあるものの減少傾向を示している。  
本県においては、平成2年以降、妊産婦死亡数は0～2人で推移している。

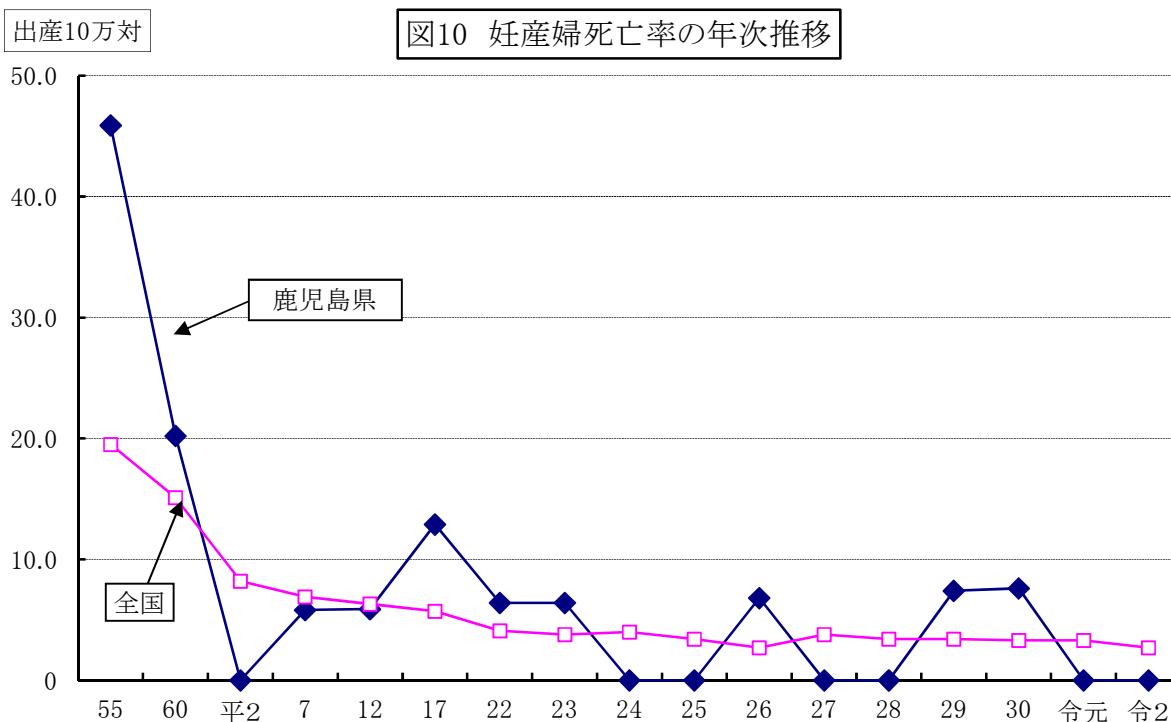


表1 妊産婦死亡数及び率の年次推移 (出産10万対)

年次	鹿 児 島 県		全 国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	96	17.4	4,117	17.6
30	84	16.8	3,095	17.9
35	64	16.9	2,097	13.1
40	39	13.3	1,597	8.8
45	30	12.4	1,008	5.2
50	8	3.3	546	2.9
55	12	45.9	323	19.5
60	5	20.2	226	15.1
平2	0	0.0	105	8.2
7	1	5.8	85	6.9
12	1	5.9	78	6.3
17	2	12.9	62	5.7
22	1	6.4	45	4.1
23	1	6.4	41	3.8
24	0	0.0	42	4.0
25	0	0.0	36	3.4
26	1	6.8	28	2.7
27	0	0.0	39	3.8
28	0	0.0	34	3.4
29	1	7.4	33	3.4
30	1	7.6	31	3.3
令元	0	0.0	29	3.3
令2	0	0.0	23	2.7

※ 妊産婦死亡率は、昭和53年までは出生万対である。

資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」



### 3 乳児死亡・新生児死亡

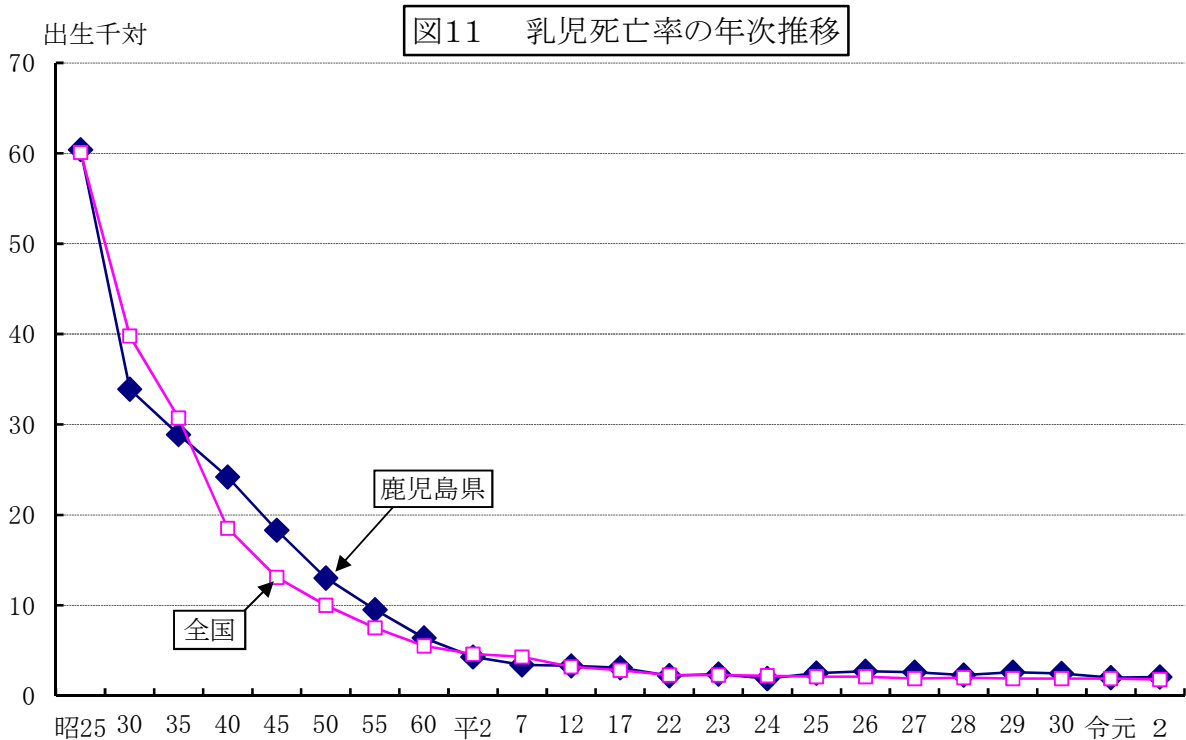
#### (1) 乳児死亡・新生児死亡数

本県における乳児死亡・新生児死亡率は、全国よりも高い状態にあるが、数割程度の差があった昭和中期と比較し、大きくその差は縮小し、全国と同程度になっており、令和2年の乳児死亡率(出生千対)は、本県が2.1、全国が1.8、新生児死亡率(出生千対)は、本県が0.6、全国が0.8となっている。

表2 乳児・新生児死亡数及び率(出生千対)の年次推移

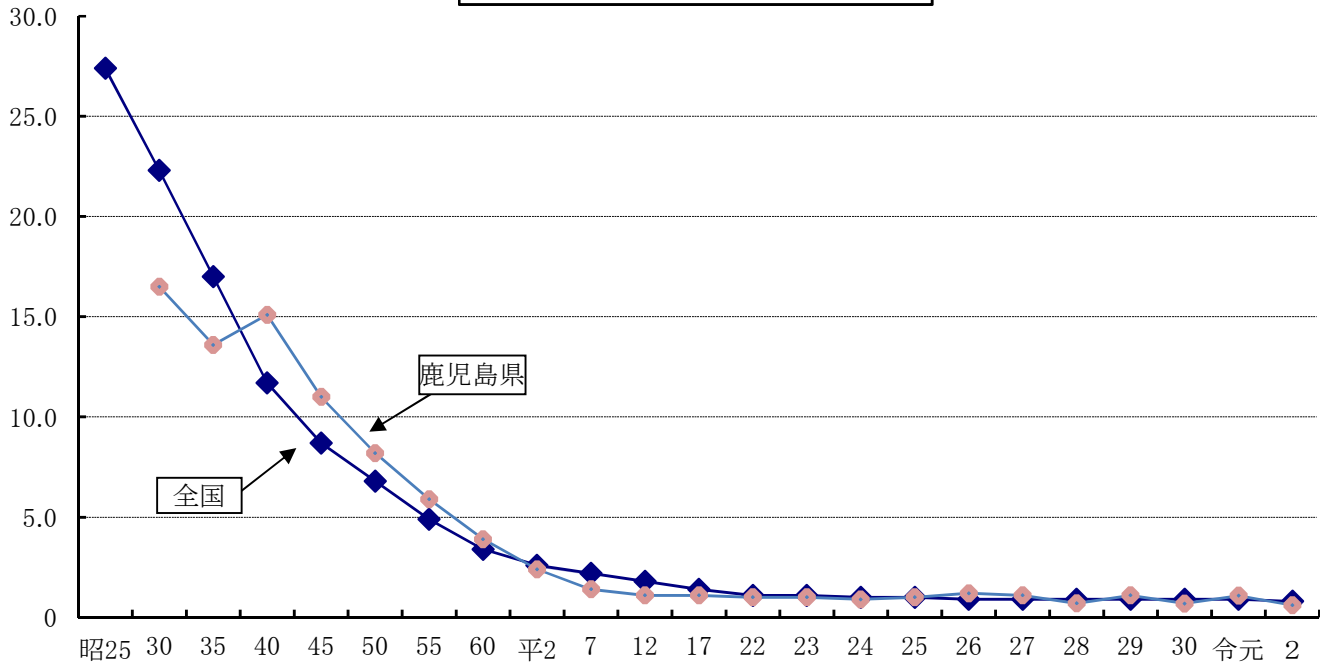
年次	鹿 児 島 県				全 国			
	乳 児		新 生 児		乳 児		新 生 児	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	3,325	60.4	—	—	140,525	60.1	64,142	27.4
30	1,693	33.9	824	16.5	68,801	39.8	38,646	22.3
35	1,094	28.9	525	13.6	49,293	30.7	27,362	17.0
40	709	24.2	442	15.1	33,742	18.5	21,260	11.7
45	446	18.3	267	11.0	25,412	13.1	16,742	8.7
50	319	13.0	201	8.2	19,103	10.0	12,918	6.8
55	233	9.5	144	5.9	11,841	7.5	7,795	4.9
60	150	6.4	90	3.9	7,899	5.5	4,910	3.4
平2	81	4.3	45	2.4	5,616	4.6	3,177	2.6
7	56	3.4	24	1.4	5,054	4.3	2,615	2.2
12	53	3.3	18	1.1	3,830	3.2	2,106	1.8
17	46	3.1	17	1.1	2,958	2.8	1,510	1.4
22	34	2.2	15	1.0	2,450	2.3	1,167	1.1
23	36	2.4	15	1.0	2,463	2.3	1,147	1.1
24	28	1.9	13	0.9	2,299	2.2	1,065	1.0
25	37	2.5	14	1.0	2,185	2.1	1,026	1.0
26	38	2.7	17	1.2	2,080	2.1	952	0.9
27	37	2.6	15	1.1	1,916	1.9	902	0.9
28	32	2.3	9	0.7	1,928	2.0	874	0.9
29	35	2.6	14	1.1	1,761	1.9	832	0.9
30	32	2.5	9	0.7	1,748	1.9	801	0.9
令元	24	2.0	13	1.1	1,654	1.9	755	0.9
2	24	2.1	7	0.6	1,512	1.8	704	0.8

資料：厚生労働省「人口動態統計」



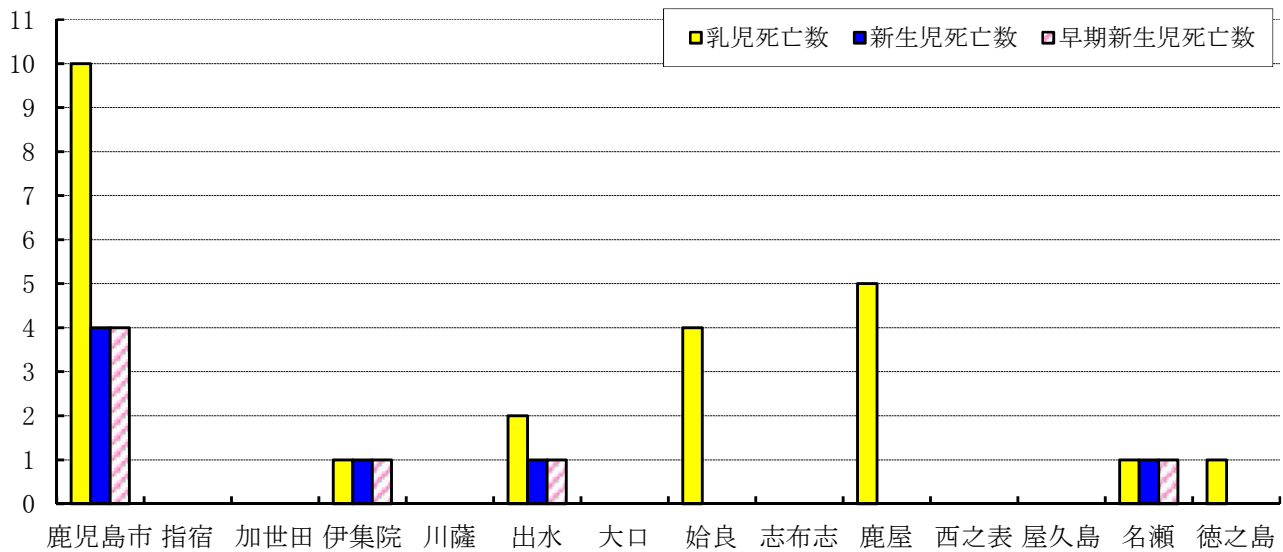
出生千対

図12 新生児死亡率の年次推移



人

図13 令和2年保健所別 乳児・新生児・早期新生児死亡数



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県	全国
乳児死亡数	10	0	0	1	0	2	0	4	0	5	0	0	1	1	24	1,512
乳児死亡率	2.1	0.0	0.0	2.0	0.0	3.7	0.0	2.5	0.0	4.4	0.0	0.0	2.1	3.5	2.1	1.8
新生児死亡数	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	7	704
新生児死亡率	0.8	0.0	0.0	2.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.6	0.8
早期新生児死亡数	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	7	552
早期新生児死亡率	0.8	0.0	0.0	2.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.6	0.7
出生数	4,788	229	456	493	803	536	159	1,614	418	1,145	165	81	469	282	11,638	840,835

資料:厚生労働省「人口動態統計」

## (2) 生存期間別乳児死亡

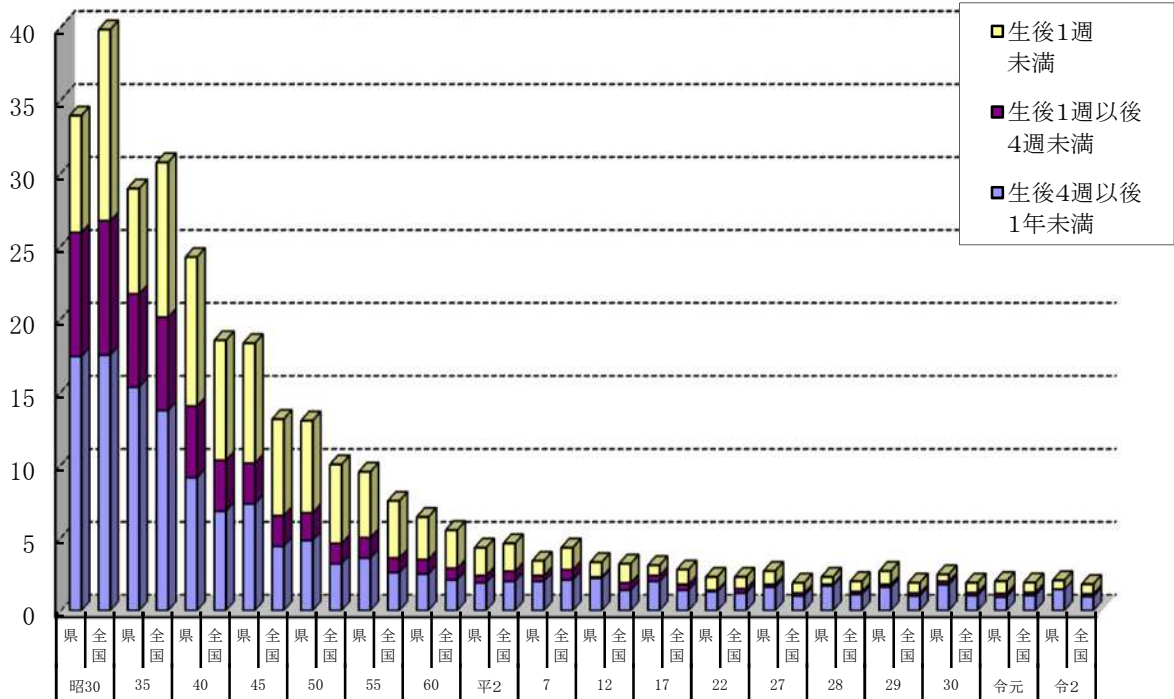
生存期間別乳児死亡率の年次推移については、低率で推移している。

令和元年については、生後1週未満の早期新生児死亡率は0.6、生後1週以後4週未満の新生児死亡率は0、生後4週以後1年未満の乳児死亡率は1.5であり、全国と同程度の水準であった。

また、生存期間別に乳児死亡割合をみると、約2人に1人(50.0%)が早期新生児死亡である。

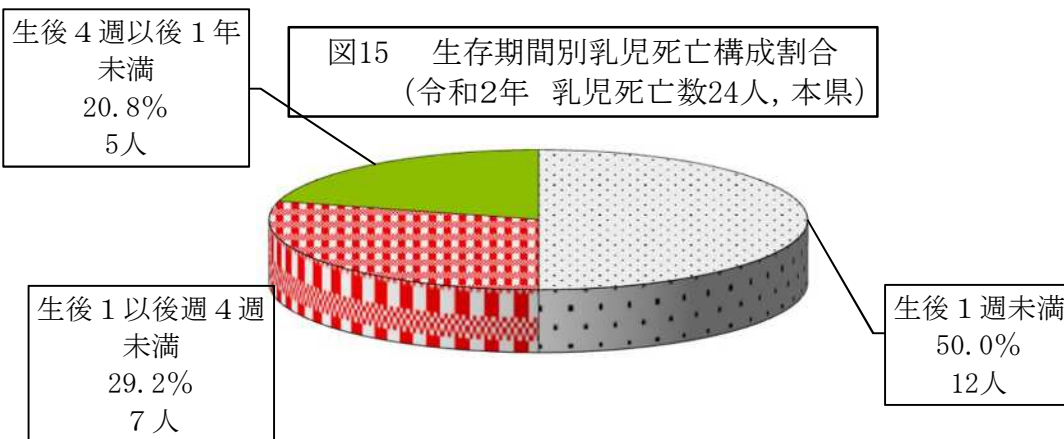
出生千対

図14 生存期間別乳児死亡率年次推移



区分	昭30		35		40		45		50		55		60		平2		7		12		17		22		27		28		29		30		令元		令2		
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国			
生後4週以後1年未満	17.4	17.5	15.3	13.7	9.1	6.8	7.3	4.4	4.8	3.2	3.6	2.6	2.5	2.1	1.9	2.0	2.0	2.1	2.2	1.4	2.0	1.4	1.3	1.2	1.6	1.0	1.7	1.1	1.6	1.0	1.8	1.0	0.9	1.0	1.5	1.0	
生後1週以後4週未満	8.5	9.2	6.4	6.4	4.9	3.5	2.8	2.1	1.9	1.4	1.4	1.0	1.0	0.8	0.5	0.7	0.4	0.7	0.1	0.5	0.4	0.4	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2
生後1週未満	8.0	13.1	7.2	10.6	10.2	8.2	8.2	6.6	6.3	5.4	4.5	3.9	2.9	2.6	1.9	1.9	1.0	1.5	1.0	1.3	0.7	1.0	0.9	0.8	0.9	0.7	0.5	0.7	0.9	0.7	0.5	0.7	0.8	0.7	0.6	0.7	
乳児死亡率	33.9	39.8	28.9	30.7	24.2	18.5	18.3	13.1	13.0	10.0	9.5	7.5	6.4	5.5	4.3	4.6	3.4	4.3	3.3	3.2	3.1	2.8	2.2	2.3	2.6	1.9	2.3	2.0	2.6	1.9	2.5	1.9	2.0	1.9	2.1	1.8	

資料：厚生労働省「人口動態統計」

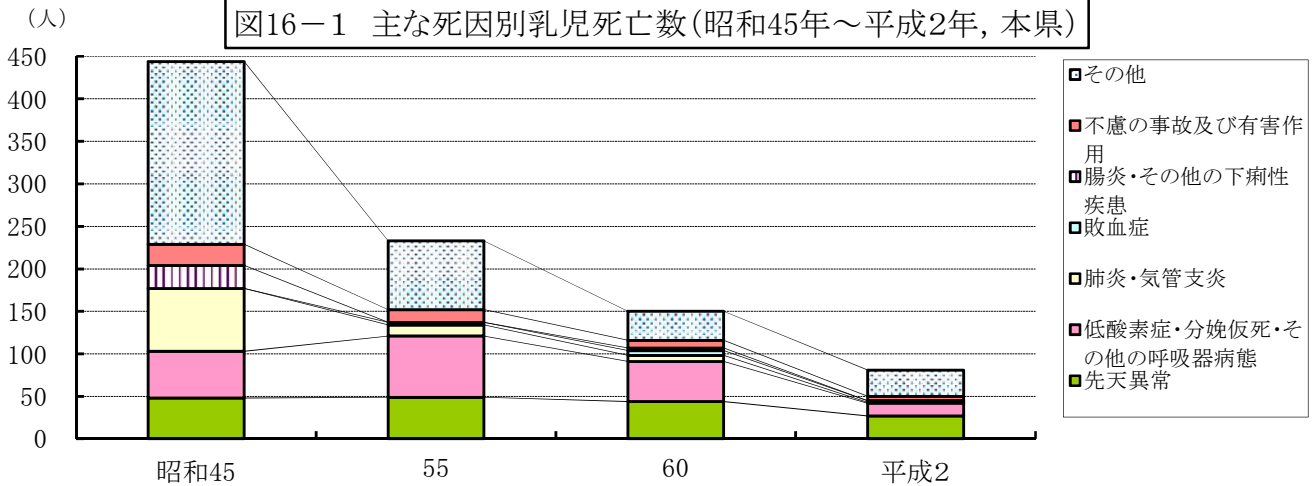


### (3) 乳児死亡の原因

死因別死亡については、死因分類が変わった平成7年以前(図16-1)と、それ以降(図16-2)とに分けて示した。昭和40年代ごろまでは肺炎・気管支炎や腸炎・その他の下痢性疾患等の感染性の疾患が多かったが、次第に低酸素症・分娩仮死等の呼吸器疾患が多くなり、感染性の疾患は激減した。その後は、先天奇形等や周産期に発生した病態が多くなっている。

令和2年の死因別乳児死亡は、本県では「先天奇形、変形・染色体異常」が45.8%と最も多かった。

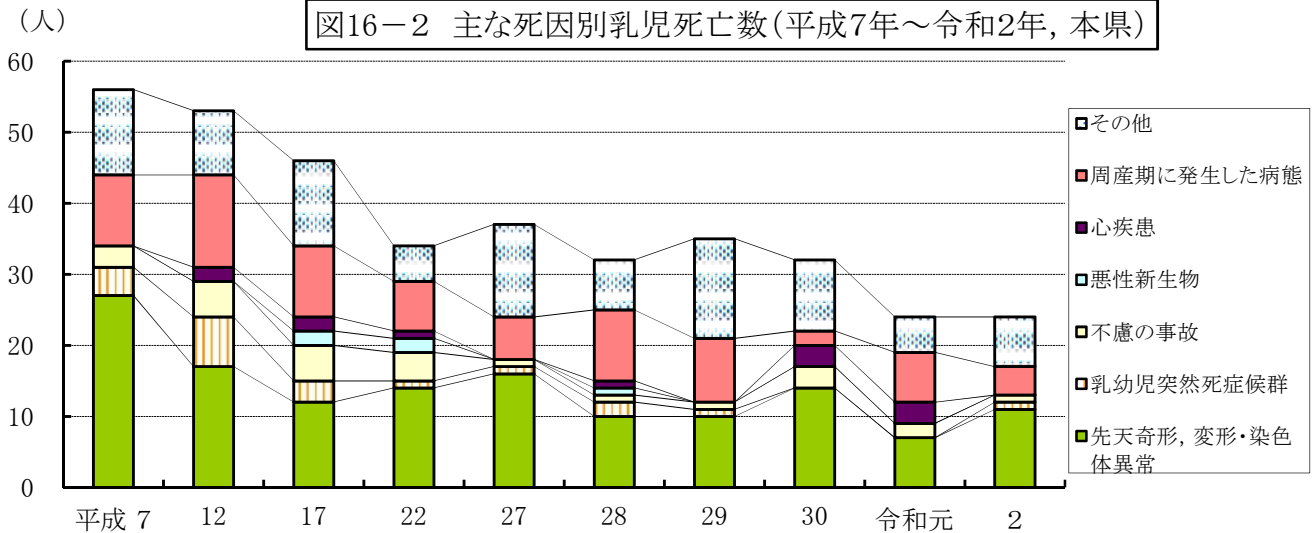
図16-1 主な死因別乳児死亡数(昭和45年～平成2年, 本県)



区分	先天異常	低酸素症・分娩仮死・その他の呼吸器病態	肺炎・気管支炎	敗血症	腸炎・その他の下痢性疾患	不慮の事故及び有害作用	その他	全死亡数
昭和45	48	55	74	0	27	25	215	444
55	49	72	13	3	0	15	81	233
60	44	47	7	6	3	9	34	150
平成2	27	15	1	2	0	5	31	81

資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

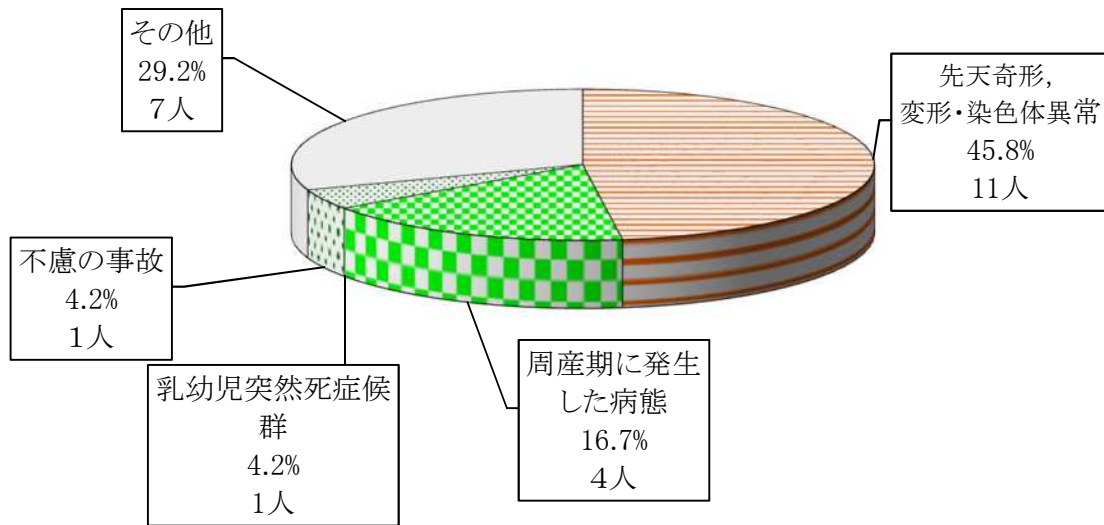
図16-2 主な死因別乳児死亡数(平成7年～令和2年, 本県)



区分	先天奇形、変形・染色体異常	乳幼児突然死症候群	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	周産期に発生した病態	その他	全死亡数
平成7	27	4	3	0	0	10	12	56
12	17	7	5	0	2	13	9	53
17	12	3	5	2	2	10	12	46
22	14	1	4	2	1	7	5	34
27	16	1	1	0	0	6	13	37
28	10	2	1	1	1	10	7	32
29	10	1	1	0	0	9	14	35
30	14	0	3	0	3	2	10	32
令和元	7	0	2	0	3	7	5	24
2	11	1	1	0	0	4	7	24

資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図17 主な死因別乳児死亡数及び割合  
(令和2年乳児死亡数24人, 本県)



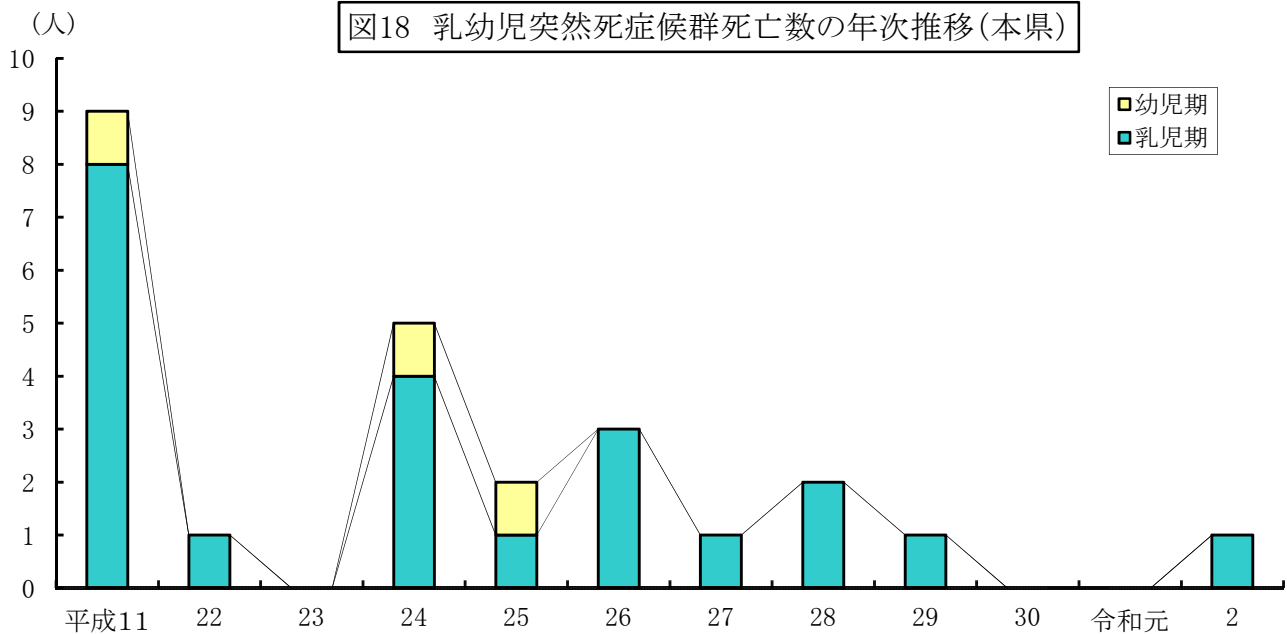
#### (4) 乳幼児突然死症候群(SIDS)

何の予兆や既往歴のない乳幼児に死をもたらす乳幼児突然死症候群は、その9割が乳児期に起こるといわれている。

全国的には、国が乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間を開始した平成11年以降、平成30年まで減少傾向にある。また、令和2年の死亡数は95人であり、前年から17人の増となった。

なお、本県においては、令和2年の死亡は1人であった。

図18 乳幼児突然死症候群死亡数の年次推移(本県)



年度	平成11	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	令和2
鹿児島県	9 (8)	1 (1)	1 (0)	5 (4)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
全国	412	147	148	152	125	146	96	109	77	61	78	95

※ ( )は乳児期(1歳未満)の死亡数

資料:厚生労働省「人口動態統計」

## 4 周産期死亡

令和2年の本県の周産期死亡率は2.9であり、全国の3.2よりも低率であった。

妊娠満22週以後の死産は、死産数27胎(死産率2.3)であり、妊娠週数別では、妊娠22週～27週の死産が14胎(51.9%)である。

図19 周産期死亡率の年次推移

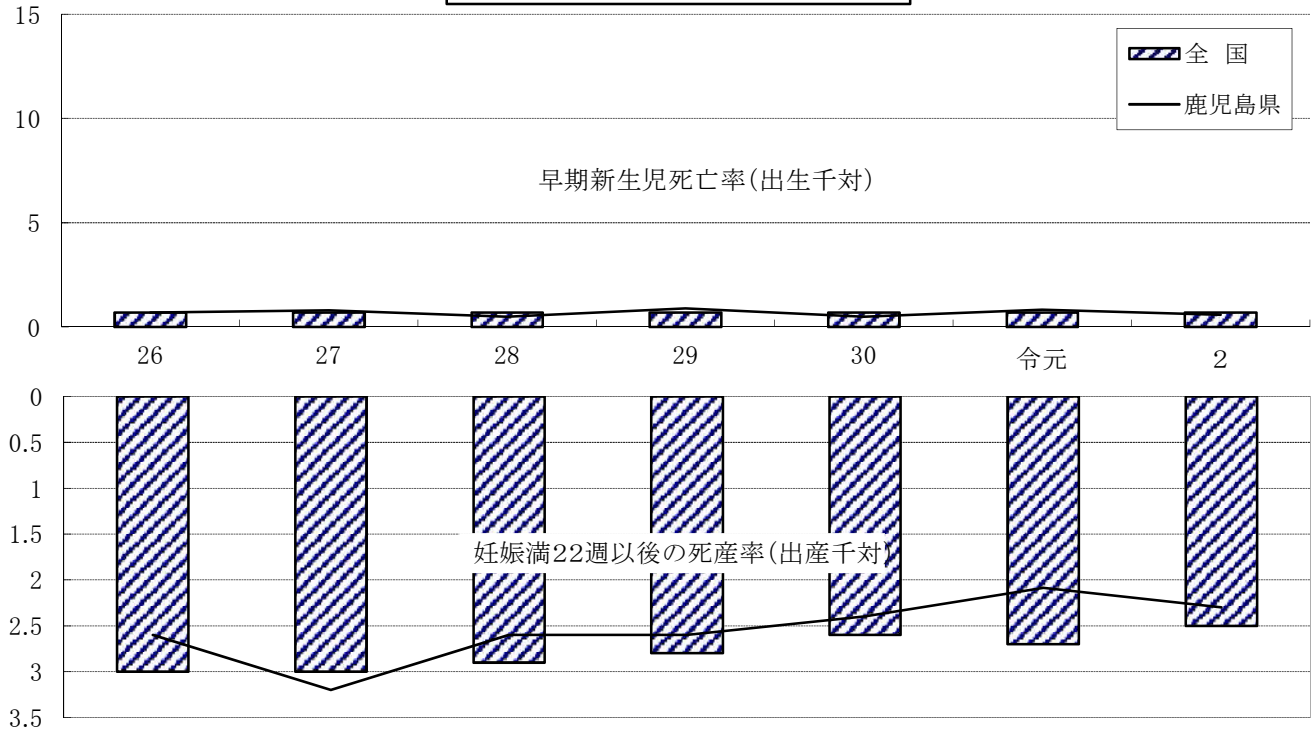


表3 周産期死亡数・率(出産千対), 早期新生児死亡数・率(出生千対)の年次推移

年次	鹿児島県						全国		
	周産期死亡		妊娠満22週以後の死産		早期新生児死亡		周産期死亡率	妊娠満22週以後の死産率	早期新生児死亡率
	死亡数	死亡率	死産数	死産率	死亡数	死亡率			
平25	—	—	—	—	—	—	46.6	31.5	15.1
26	47	3.3	37	2.6	10	0.7	3.7	3.0	0.7
27	58	4.1	46	3.2	12	0.8	3.7	3.0	0.7
28	42	3.1	35	2.6	7	0.5	3.6	2.9	0.7
29	46	3.5	34	2.6	12	0.9	3.5	2.8	0.7
30	37	2.8	31	2.4	6	0.5	3.3	2.6	0.7
令和	35	2.9	25	2.1	10	0.8	3.4	2.7	0.7
2	34	2.9	27	2.3	7	0.6	3.2	2.5	0.7

※ 妊娠満22週以後の死産は、平成6年までは28週以後の死産であった。

資料:厚生労働省「人口動態統計」

図20 令和2年周産期死亡数と割合  
県全体=34人

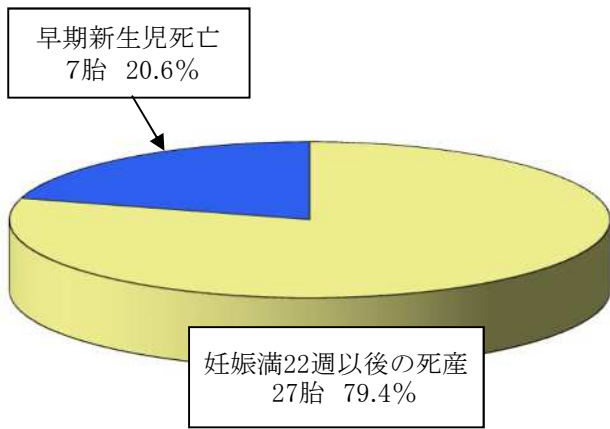


図21 令和2年妊娠満22週以後の死産の妊娠期間別死産数と割合

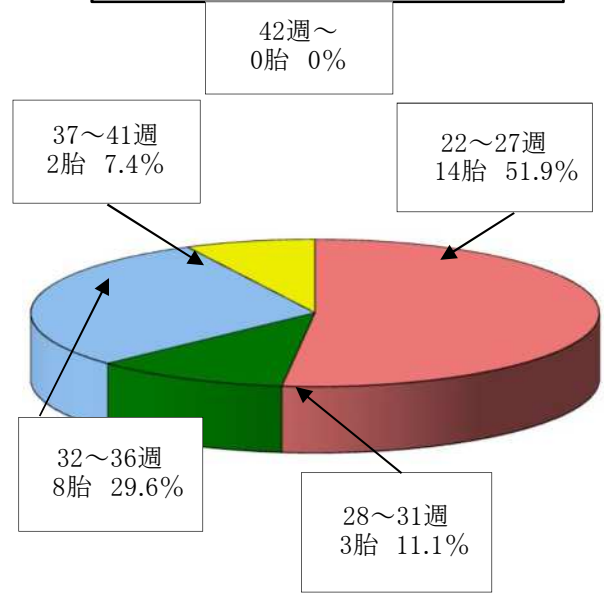
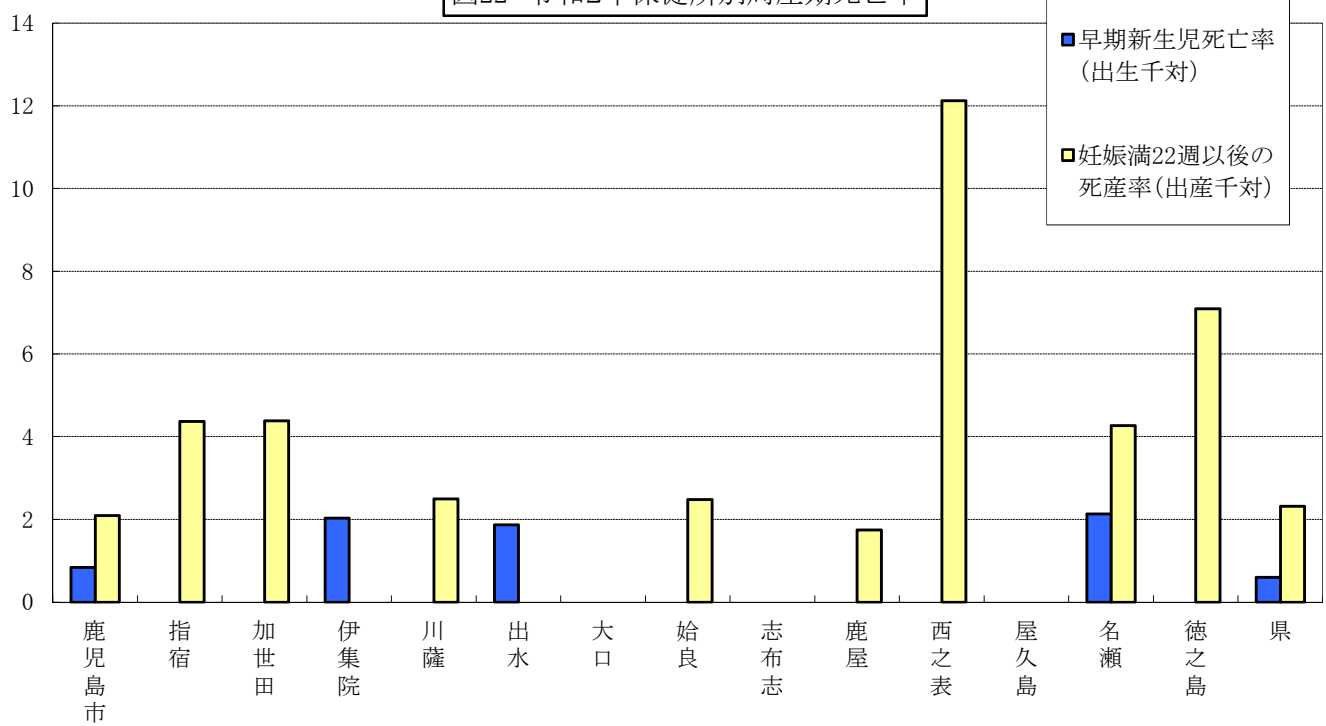


図22 令和2年保健所別周産期死亡率



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
早期新生児死亡数	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	7
早期新生児死亡率 (出生千対)	0.8	0.0	0.0	2.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.6
妊娠満22週以後の死産数	10	1	2	0	2	0	0	4	0	2	2	0	2	2	27
妊娠満22週以後の死産率 (出産千対)	2.1	4.4	4.4	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	0.0	1.7	12.1	0.0	4.3	7.1	2.3
周産期死亡数	14	1	2	1	2	1	0	4	0	2	2	0	3	2	34
周産期死亡率 (出産千対)	2.9	4.4	4.4	2.0	2.5	1.9	0.0	2.5	0.0	1.7	12.1	0.0	6.4	7.1	2.9

資料:厚生労働省「人口動態統計」

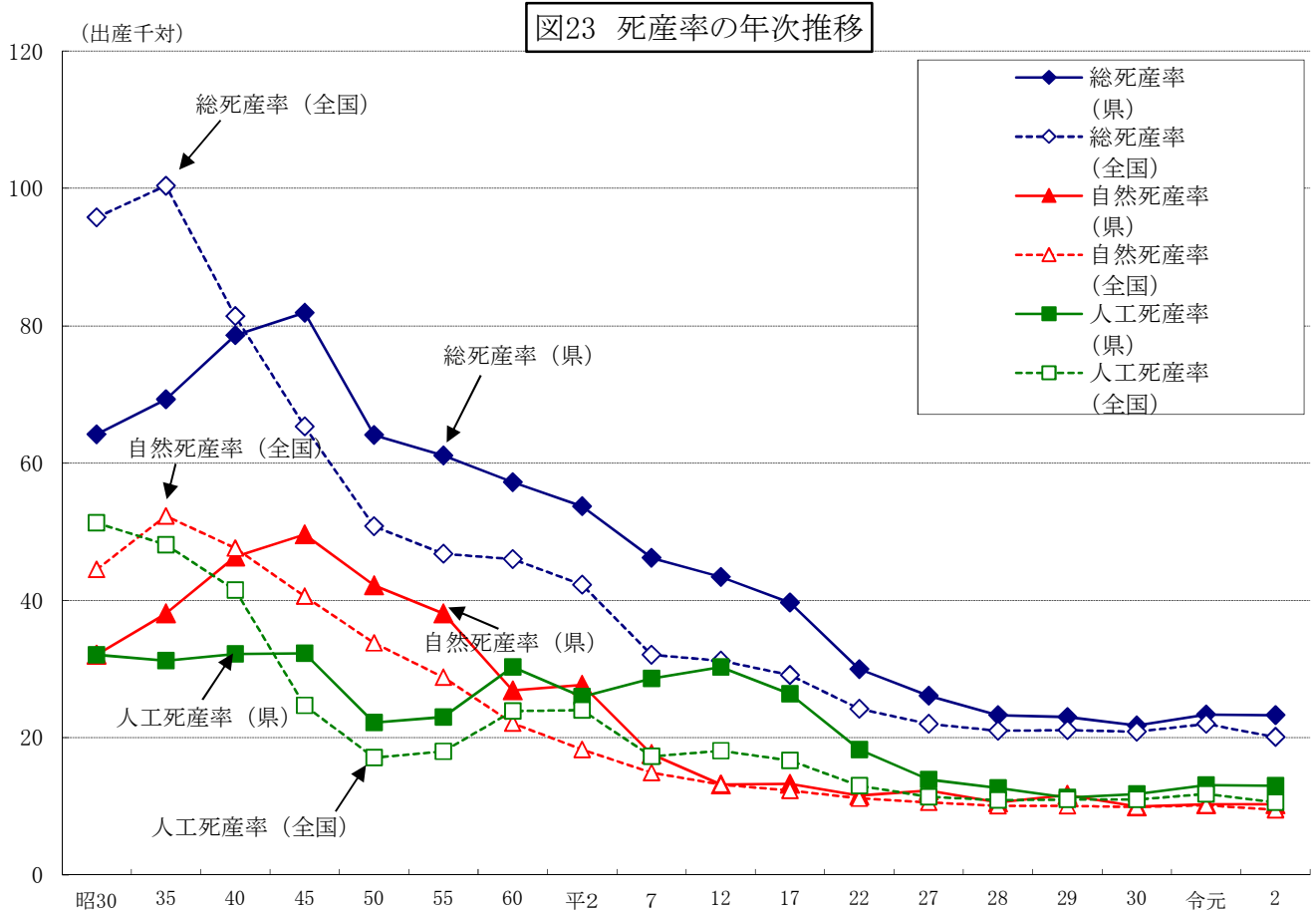
## 5 死産

### (1) 死産率

本県の昭和30年以降の総死産率年次推移は、昭和45年の81.9をピークにその後は漸次減少傾向にあり、令和2年は23.3であったが、全国と比べると依然高率で推移している。

自然死産率は、昭和45年の49.6をピークに減少傾向にあり、令和2年は10.3で全国の9.5より0.8ポイント高かった。

人工死産率は、全国より高率で推移しており、令和2年については13.0と全国の10.6より2.4ポイント高かった。



区分	昭30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	27	28	29	30	令元	2
死産総数 (県)	3,426	2,818	2,496	2,167	1,692	1,596	1,417	1,072	806	739	613	467	379	327	311	289	287	278
自然死産数 (県)	1,712	1,550	1,473	1,313	1,109	903	667	553	306	224	205	181	178	149	158	133	126	123
人工死産数 (県)	1,714	1,268	1,023	854	583	603	750	519	500	515	408	286	201	178	153	156	161	155
総死産率 (県)	64.2	69.3	78.6	81.9	64.1	61.1	57.2	53.7	46.2	43.4	39.7	30.0	26.1	23.3	23.0	21.8	23.4	23.3
総死産率 (全国)	95.8	100.4	81.4	65.3	50.8	46.8	46.0	42.3	32.1	31.2	29.1	24.2	22	21	21.1	20.9	22.0	20.1
自然死産率 (県)	32.1	38.1	46.4	49.6	42.2	38.1	26.9	27.7	17.6	13.2	13.3	11.6	12.3	10.6	11.7	10.0	10.3	10.3
自然死産率 (全国)	44.5	52.3	47.6	40.6	33.8	28.8	22.1	18.3	14.9	13.2	12.3	11.2	10.6	10.1	10.1	9.9	10.2	9.5
人工死産率 (県)	32.1	31.2	32.2	32.3	22.2	23.0	30.3	26.0	28.6	30.3	26.4	18.3	13.9	12.7	11.3	11.8	13.1	13.0
人工死産率 (全国)	51.3	48.1	41.5	24.7	17.1	18.0	23.9	24.0	17.3	18.1	16.7	13.0	11.4	10.9	11.0	11.0	11.8	10.6

資料：厚生労働省「人口動態統計」

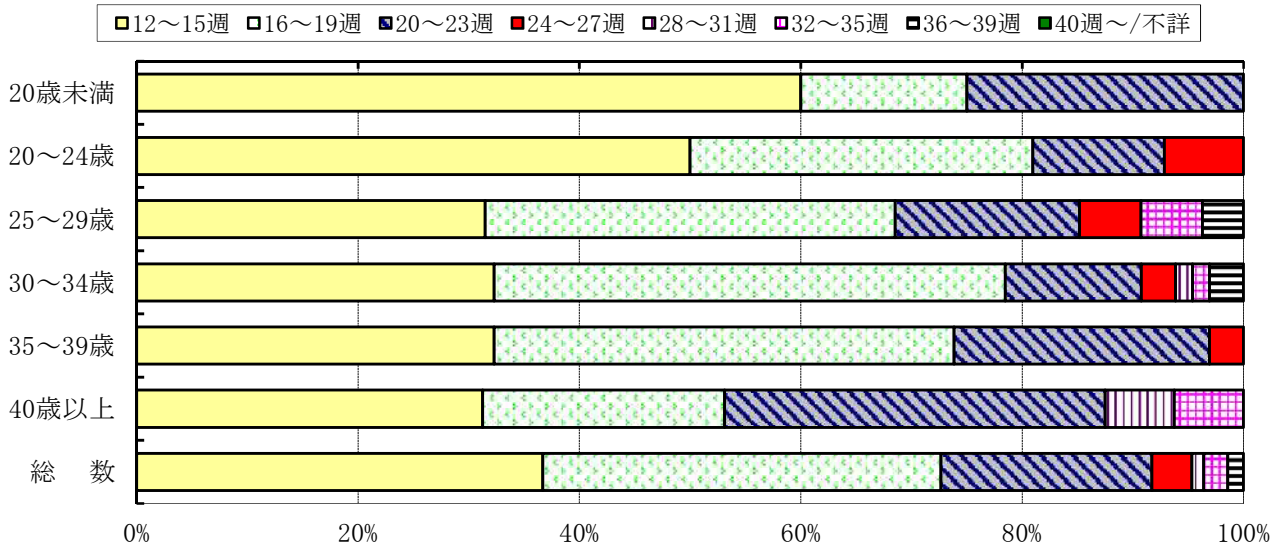


(2) 母の年齢階級別・妊娠期間別死産

令和2年は自然・人工死産別及び妊娠期間別にみると、自然死産では妊娠16～19週が37.4%と最も高く、また、人工死産においては、妊娠16～19週が34.8%と最も高かった(図25, 表4)。

年齢階級別には、自然死産では30～34歳, 35歳～39歳が32.5%と高く、人工死産では20～24歳未満が23.9%, 25～29歳未満が21.3%と高かった(図26, 表5)。

図24 令和2年 年齢階級別死産の妊娠期間別割合(本県)



区分	12～15週	16～19週	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36～39週	40週~/不詳
20歳未満	60.0	15.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	50.0	31.0	11.9	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	31.5	37.0	16.7	5.6	0.0	5.6	3.7	0.0
30～34歳	32.3	46.2	12.3	3.1	1.5	1.5	3.1	0.0
35～39歳	32.3	41.5	23.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳以上	31.3	21.9	34.4	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0
総数	36.7	36.0	19.1	3.6	1.1	2.2	1.4	0.0

資料:厚生労働省「人口動態統計」

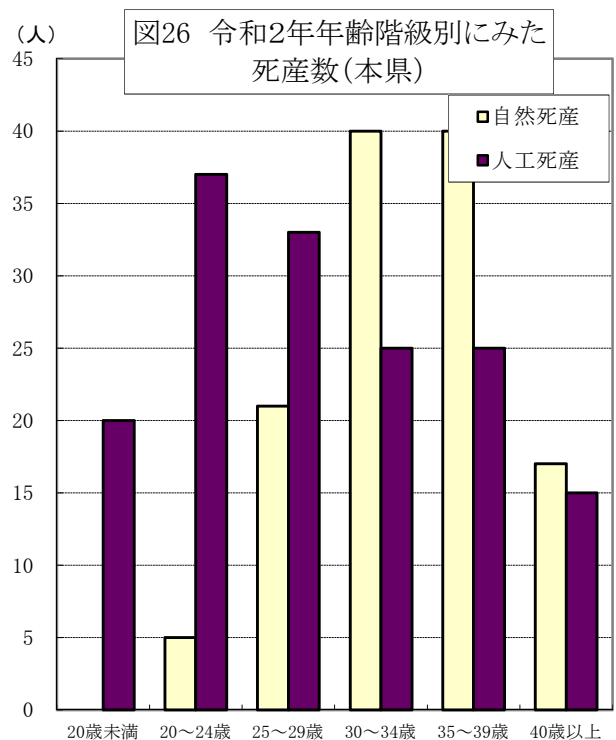
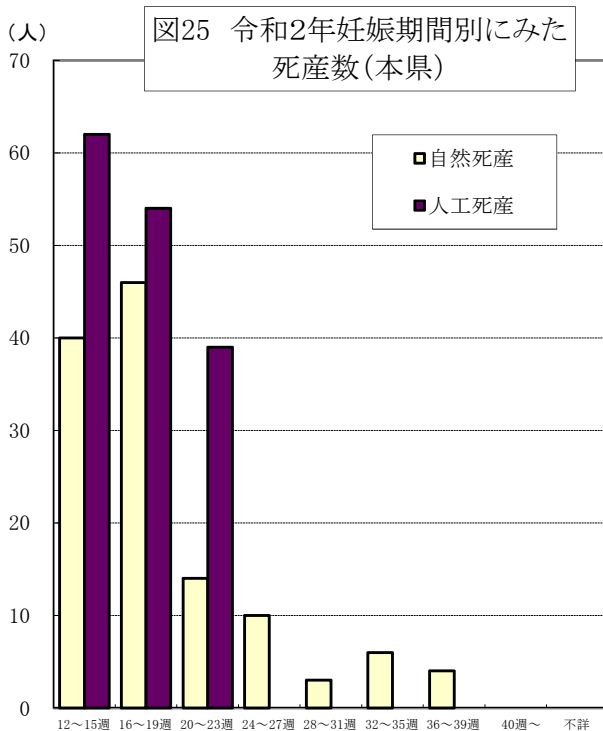


表4 令和2年妊娠期間別にみた死産数及び死産割合(本県)

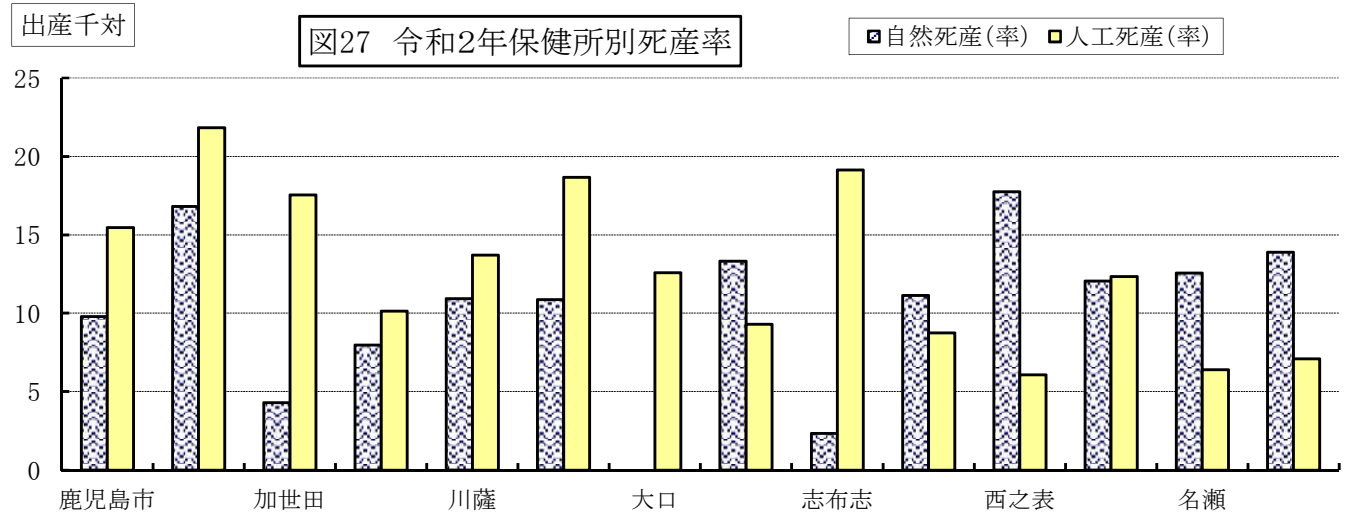
	総 数		自 然 死 産		人 工 死 産	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
12～15週	102	36.7	40	32.5	62	40.0
16～19週	100	36.0	46	37.4	54	34.8
20～23週	53	19.1	14	11.4	39	25.2
24～27週	10	3.6	10	8.1	0	0.0
28～31週	3	1.1	3	2.4	0	0.0
32～35週	6	2.2	6	4.9	0	0.0
36～39週	4	1.4	4	3.3	0	0.0
40週～	-	-	-	-	0	0.0
不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	278	100	123	100	155	100

資料:厚生労働省「人口動態統計」

表5 令和2年年齢階級別にみた死産数及び死産割合(本県)

	総 数		自 然 死 産		人 工 死 産	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
20歳未満	20	7.2	0	0.0	20	12.9
20～24歳	42	15.1	5	4.1	37	23.9
25～29歳	54	19.4	21	17.1	33	21.3
30～34歳	65	23.4	40	32.5	25	16.1
35～39歳	65	23.4	40	32.5	25	16.1
40歳以上	32	11.5	17	13.8	15	9.7
合計	278	100	123	100	155	100

資料:厚生労働省「人口動態統計」



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
自然死産(数)	48	4	2	4	9	6	-	22	1	13	3	1	6	4	123
自然死産(率)	9.8	16.8	4.3	8.0	10.9	10.9	-	13.3	2.3	11.1	17.8	12.0	12.6	13.9	10.3
人工死産(数)	74	5	8	5	11	10	2	15	8	10	1	1	3	2	155
人工死産(率)	15.5	21.8	17.5	10.1	13.7	18.7	12.6	9.3	19.1	8.7	6.1	12.3	6.4	7.1	13.0
総死産(数)	122	9	10	9	20	16	2	37	9	23	4	2	9	6	278
総死産(率)	24.8	37.8	21.5	17.9	24.3	29.0	12.4	22.4	21.1	19.7	23.7	24.1	18.8	20.8	23.3

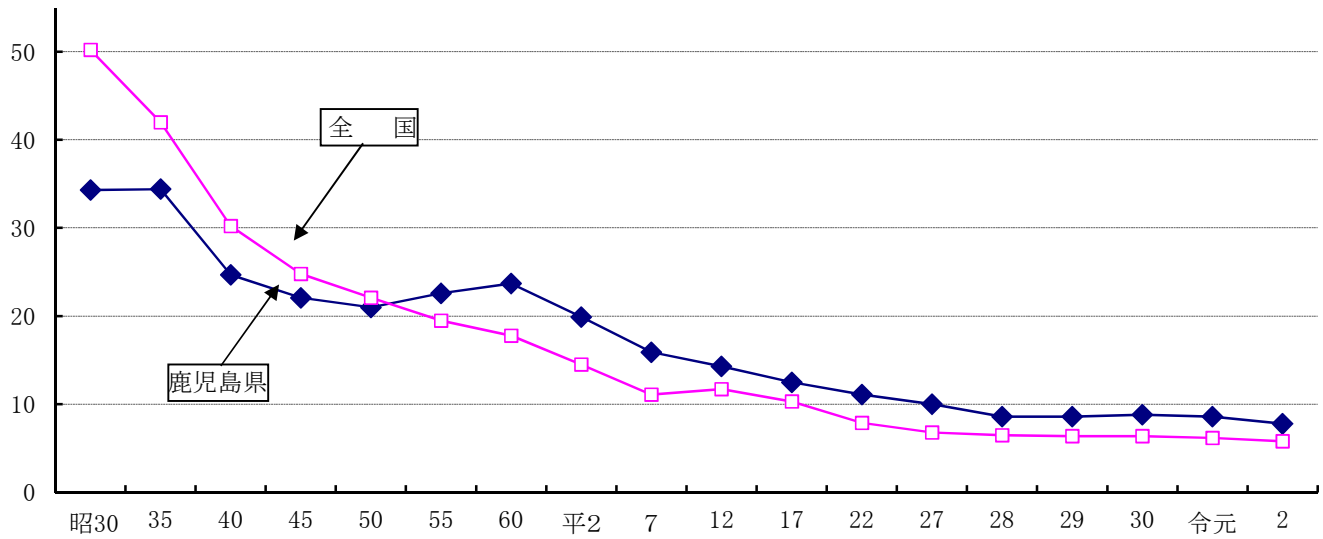
資料:厚生労働省「人口動態統計」

## 6 人工妊娠中絶

本県の人工妊娠中絶実施率は昭和50年ごろまでは、全国平均を下回っていたが、その後全国平均を上回り、令和2年度は全国より2.4ポイント高い8.2であった。  
年齢階級別人工妊娠中絶率でみると、20～24歳、25～29歳、30～34歳の順で多い。

15歳以上50歳未満  
女子人口千対

図28 人工妊娠中絶実施率の年次推移

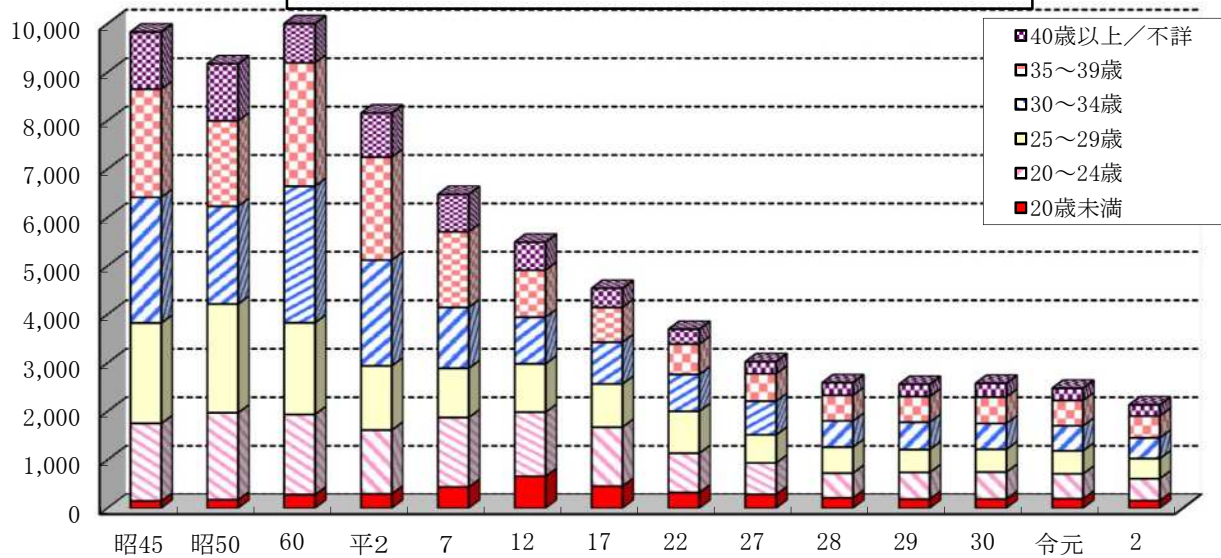


区分	昭30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	27	28	29	30	令元	2
鹿児島県	34.3	34.4	24.7	22.1	21.0	22.6	23.7	19.9	15.9	14.3	12.5	11.1	10.0	8.6	8.6	8.8	8.6	7.8
全国	50.2	42.0	30.2	24.8	22.1	19.5	17.8	14.5	11.1	11.7	10.3	7.9	6.8	6.5	6.4	6.4	6.2	5.8

資料：厚生労働省「母体保護統計報告」(~平成13年分：年計)、「衛生行政報告例」(平成14年度分～：年度計)

件数

図29 年齢階級別人工妊娠中絶件数の年次推移(本県)



区分	昭45	昭50	60	平2	7	12	17	22	27	28	29	30	令元	2	R2年齢階級別中絶率
40歳以上/不詳	1,178	1,178	859	909	771	576	391	305	247	258	251	281	251	227	4.8
35～39歳	2,233	1,763	2,547	2,127	1,560	971	719	627	565	529	529	548	523	451	10.1
30～34歳	2,594	2,017	2,819	2,181	1,257	961	861	759	695	538	563	532	516	428	11.5
25～29歳	2,073	2,246	1,892	1,325	1,014	999	890	864	579	537	472	469	474	415	13.6
20～24歳	1,599	1,791	1,653	1,314	1,433	1,321	1,217	813	650	510	551	555	515	453	16.1
20歳未満	149	177	281	299	439	660	456	323	285	216	188	191	196	157	4.6
合計	9,826	9,172	10,051	8,155	6,474	5,488	4,534	3,691	3,021	2,588	2,554	2,576	2,475	2,131	7.8

資料：厚生労働省「母体保護統計報告」(~平成13年分：年計)、「衛生行政報告例」(平成14年度分～：年度計)

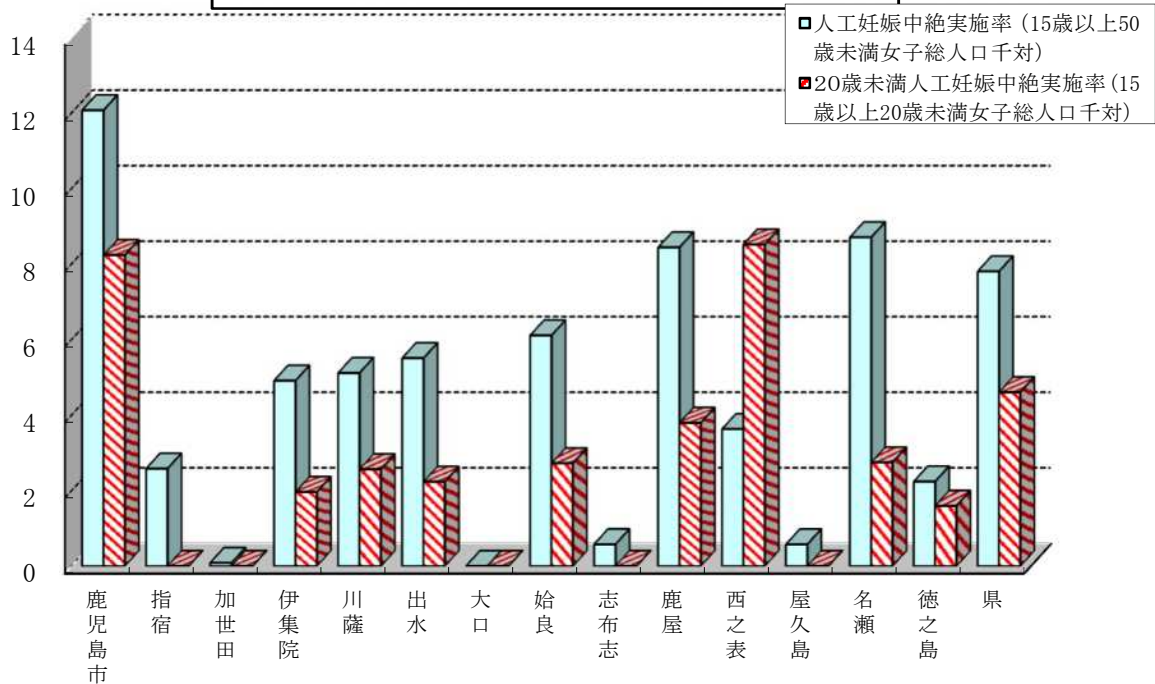
表6 人工妊娠中絶件数と実施率

年	人工妊娠中絶件数と実施率 (15歳以上50歳未満女子総人口千対)			20歳未満中絶件数と実施率 (15歳以上20歳未満女子総人口千対)			15歳以上 20歳未満 女子総人口 (県)
	鹿児島県		全国(率)	鹿児島県		全国(率)	
	総件数	率		総件数	率		
	昭40	11,313	24.7	30.2	135	1.7	
45	9,826	22.1	24.8	149	1.9	3.2	77,134
50	9,172	21.1	22.1	177	2.5	3.1	69,796
55	9,740	22.6	19.5	279	4.4	4.7	63,321
60	10,051	23.7	17.8	281	4.7	6.4	59,982
平2	8,155	19.9	14.5	299	4.8	6.6	61,928
7	6,474	15.9	11.1	439	7.2	6.2	60,583
12	5,488	14.3	11.7	660	11.6	12.1	56,975
17	4,534	12.5	10.3	456	9.3	9.4	49,040
22	3,691	11.1	7.9	323	7.6	7.0	42,224
27	3,021	10.0	6.8	285	7.5	5.5	37,778
28	2,588	8.6	6.5	216	5.7	5.0	37,946
29	2,554	8.6	6.4	188	5.1	4.8	37,814
30	2,576	8.8	6.4	191	5.2	4.7	37,110
令元	2,475	8.6	6.2	196	5.4	4.5	36,542
2	2,131	7.8	5.8	157	4.6	3.8	34,098

資料：厚生労働省「母体保護統計報告」(～平成13年分)、「衛生行政報告例」(平成14年度分～)，  
総務省国勢調査，本県統計課鹿児島県年齢別推計人口調査

注)20歳未満の女子人口で国調年以外の数値は，県統計課鹿児島県年齢別推計人口調査による。

図30 令和2年度保健所別人工妊娠中絶実施率



区分	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
中絶件数	1,348	15	1	60	92	69	0	231	6	198	14	1	84	12	2,131
人工妊娠中絶 実施率	12.1	2.6	0.1	4.9	5.1	5.5	0.0	6.1	0.6	8.4	3.6	0.6	8.7	2.2	7.8
20歳未満 中絶件数	111	0	0	4	6	4	0	13	0	11	4	0	3	1	157
20歳未満 人工妊娠中絶 実施率	8.2	0.0	0.0	2.0	2.6	2.2	0.0	2.7	0.0	3.8	8.5	0.0	2.7	1.6	4.6

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」，総務省「国勢調査」年以外の数値は本県統計課鹿児島県年齢別推計人口調査

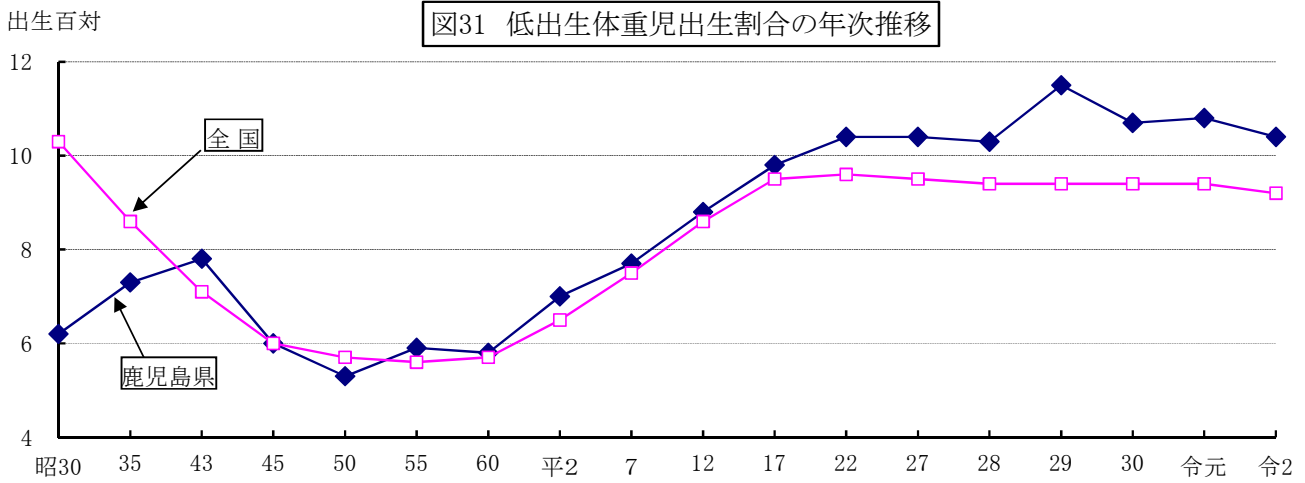
注)県計の実施率は，厚生労働省「衛生行政報告例」による。

注)各保健所ごとの実施率は，女子人口を基に県子ども家庭課で算出

## 7 低出生体重児

### (1) 低出生体重児出生割合

令和2年度における本県の2,500g未満の低出生体重児出生割合は10.4と全国の9.2より高く、全国を上回って推移している。



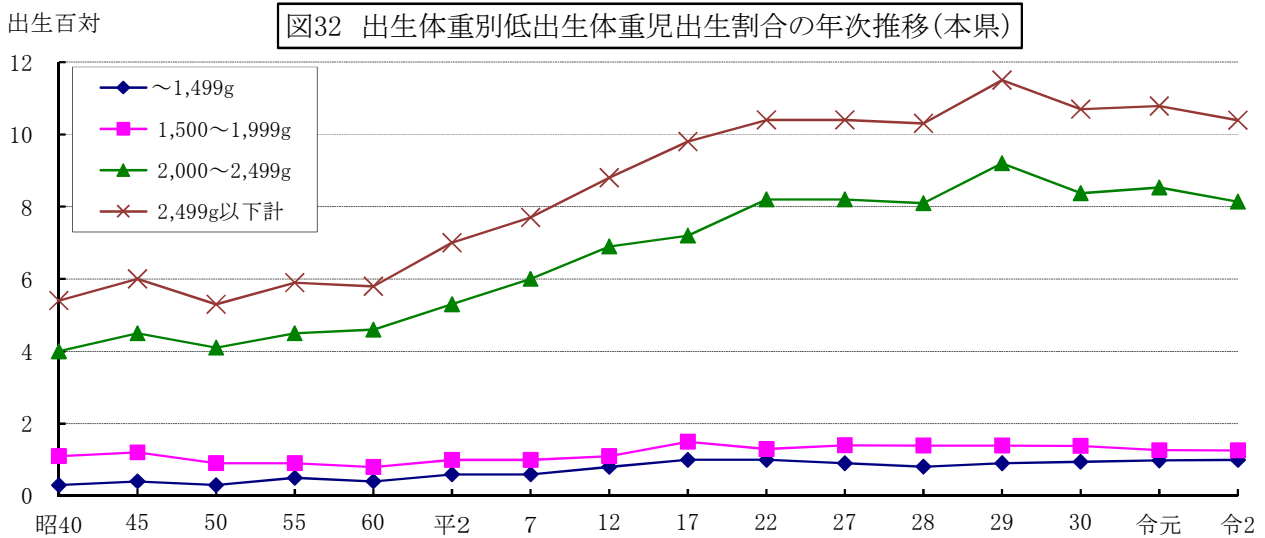
区分	昭30	35	43	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	27	28	29	30	令元	令2
鹿児島県	6.2	7.3	7.8	6.0	5.3	5.9	5.8	7.0	7.7	8.8	9.8	10.4	10.4	10.3	11.5	10.7	10.8	10.4
全国	10.3	8.6	7.1	6.0	5.7	5.6	5.7	6.5	7.5	8.6	9.5	9.6	9.5	9.4	9.4	9.4	9.4	9.2

※ 平成6年までは、低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」

### (2) 出生体重別低出生体重児出生割合

本県の低出生体重児を出生体重別にみると、出生体重2,000g未満の割合は概ね横ばいで経過しているが、2,000g～2,499gの出生割合は若干の変動はあるものの、平成27年以降は横ばいであり、令和2年は8.1であった。



体重	年	昭40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	27	28	29	30	令元	令2
~1,499g		0.3	0.4	0.3	0.5	0.4	0.6	0.6	0.8	1.0	1.0	0.9	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0
1,500~1,999g		1.1	1.2	0.9	0.9	0.8	1.0	1.0	1.1	1.5	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3
2,000~2,499g		4.0	4.5	4.1	4.5	4.6	5.3	6.0	6.9	7.2	8.2	8.2	8.1	9.2	8.4	8.5	8.1
2,499g以下計		5.4	6.0	5.3	5.9	5.8	7.0	7.7	8.8	9.8	10.4	10.4	10.3	11.5	10.7	10.8	10.4

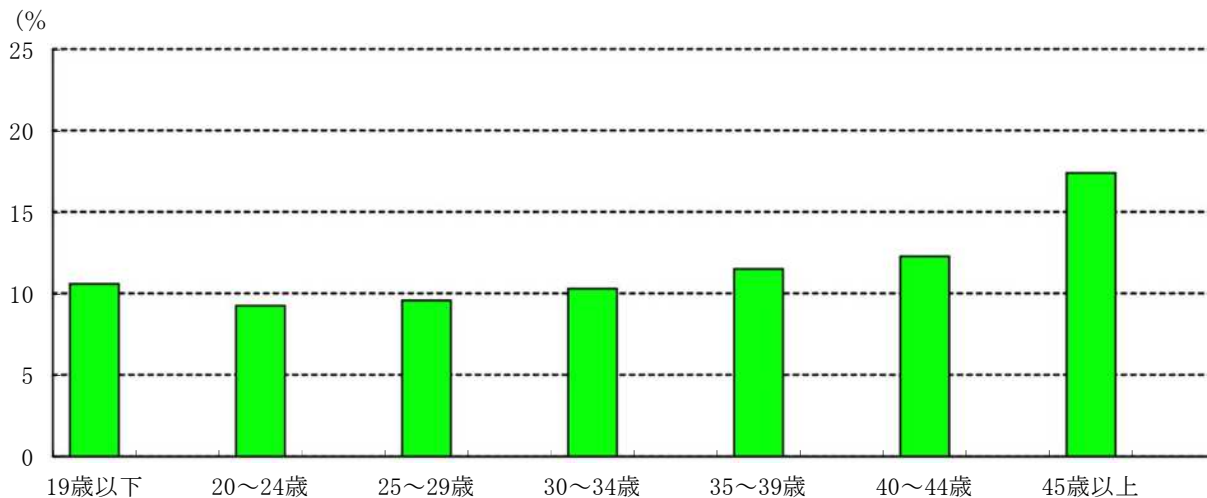
※ 平成6年までは低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」

(3) 母の年齢階級別・子の出生体重別低出生体重児出生割合

令和2年母親の年齢階級別低出生体重児出生割合は、40～44歳の12.3%、45歳以上の17.4%の順に多かった。

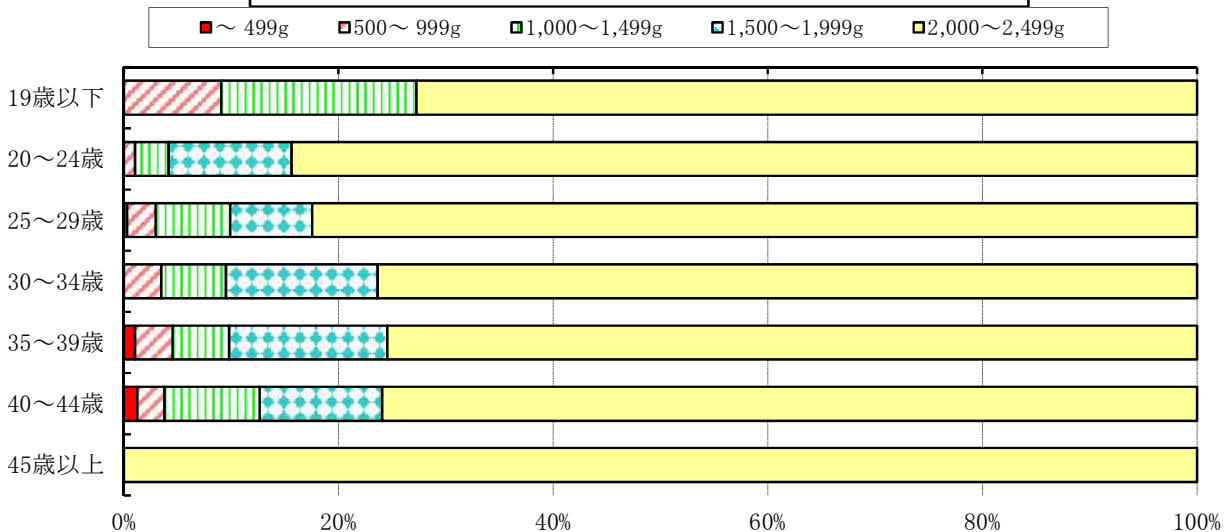
図33 令和2年母の年齢階級別低出生体重児出生割合(本県)



年齢	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	計
2,500 g 未満 出生割合(%)	10.6	9.2	9.6	10.3	11.5	12.3	17.4	10.4
2,500 g 未満 出生数(人)	11	96	302	431	285	79	4	1,208
出生数(人)	104	1,039	3,159	4,190	2,479	644	23	11,638

資料:厚生労働省「人口動態統計」

図34 令和2年母の年齢階級別・子の出生体重別割合(本県)

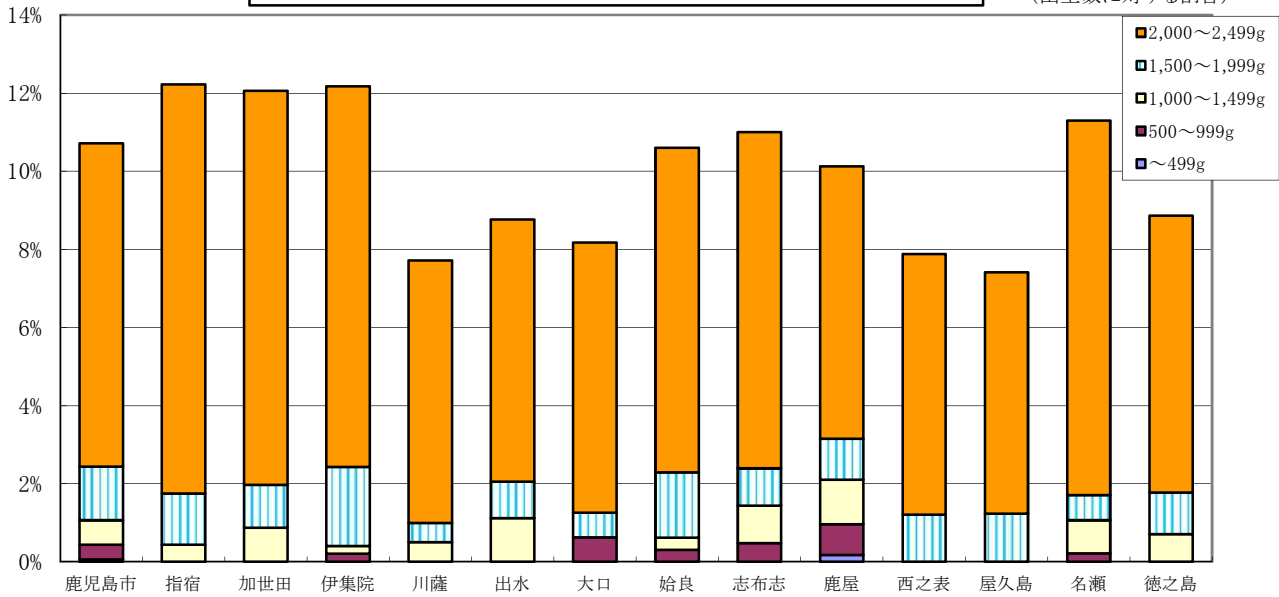


年齢	19歳以下		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45歳以上	
	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)
～499g	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	3	1.1	1	1.3	0	0.0
500～999g	1	9.1	1	1.0	8	2.6	15	3.5	10	3.5	2	2.5	0	0.0
1,000～1,499g	2	18.2	3	3.1	21	7.0	26	6.0	15	5.3	7	8.9	0	0.0
1,500～1,999g	0	0.0	11	11.5	23	7.6	61	14.2	42	14.7	9	11.4	0	0.0
2,000～2,499g	8	72.7	81	84.4	249	82.5	329	76.3	215	75.4	60	75.9	4	100.0
合計	11	100.0	96	100.0	302	100.0	431	100.0	285	100.0	79	100.0	4	100.0

資料:厚生労働省「人口動態統計」

図35 令和2年保健所別出生体重別低出生体重児出生割合

(出生数に対する割合)



保健所 体重(g)		合計	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島
		~499g	人	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	率	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
500~999g	人	37	18	0	0	1	0	0	1	5	2	9	0	0	1	0
	率	0.3	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	0.3	0.5	0.8	0.0	0.0	0.2	0.0
1,000~1,499g	人	74	30	1	4	1	4	6	0	5	4	13	0	0	4	2
	率	0.6	0.6	0.4	0.9	0.2	0.5	1.1	0.0	0.3	1.0	1.1	0.0	0.0	0.9	0.7
1,500~1,999g	人	146	66	3	5	10	4	5	1	27	4	12	2	1	3	3
	率	1.3	1.4	1.3	1.1	2.0	0.5	0.9	0.6	1.7	1.0	1.0	1.2	1.2	0.6	1.1
2,000~2,499g	人	946	396	24	46	48	54	36	11	134	36	80	11	5	45	20
	率	8.1	8.3	10.5	10.1	9.7	6.7	6.7	6.9	8.3	8.6	7.0	6.7	6.2	9.6	7.1
計	人	1,208	513	28	55	60	62	47	13	171	46	116	13	6	53	25
	率	10.4	10.7	12.2	12.1	12.2	7.7	8.8	8.2	10.6	11.0	10.1	7.9	7.4	11.3	8.9
全出生数	人	11,638	4,788	229	456	493	803	536	159	1,614	418	1,145	165	81	469	282

資料:厚生労働省「人口動態統計」

(注)率は、出生数に対する低出生体重児の割合(単位:%)

表7 出生体重別出生数の年次推移(本県)

(単位:人)

	総数	2,500g 未 満 (再掲)	~499g	500 ~ 999g	1,000 ~ 1,499g	1,500 ~ 1,999g	2,000 ~ 2,499g	2,500 ~ 2,999g	3,000 ~ 3,999g	4,000g ~	不詳
昭和60	23,375	1,362	1	26	77	190	1,068	6,435	14,905	668	5
平成2	18,892	1,323	2	37	80	198	1,006	5,642	11,541	383	3
平成7	16,649	1,278	2	32	70	169	1,005	5,566	9,533	271	1
平成12	16,272	1,424	1	51	76	171	1,125	5,853	8,798	193	4
平成17	14,834	1,449	5	52	95	225	1,072	5,561	7,688	136	0
平成22	15,124	1,577	2	52	93	195	1,235	5,788	7,637	122	0
平成27	14,125	1,475	5	43	76	196	1,155	5,482	7,057	105	6
平成28	13,688	1,410	5	33	73	191	1,108	5,332	6,824	117	5
平成29	13,209	1,519	6	43	68	188	1,214	5,142	6,439	107	2
平成30	12,956	1,386	6	45	71	179	1,085	5,138	6,349	81	2
令和元	11,977	1,292	9	42	67	152	1,022	4,693	5,896	95	1
令和2	11,638	1,208	5	37	74	146	946	4,452	5,896	95	1

※平成6年までは、低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。

資料:厚生労働省「人口動態統計」

表8 低出生体重児出生割合全国比較

順位	H7年		H12年		H17年		H22		H27		H28		H29		H30		R元		R2	
1	徳島	6.3	山形	7.6	山形	8.0	福井	8.5	青森	8.7	青森	8.4	福井	8.2	徳島	8.5	岡山	7.9	福島	8.4
2	富山	6.5	福井	7.7	福井	8.0	新潟	8.8	福井	8.7	石川	8.6	奈良	8.6	石川	8.6	富山	8.7	石川	8.4
3	長野	6.5	徳島	7.9	石川	8.5	石川	8.8	千葉	8.8	岡山	8.6	香川	8.6	福井	8.7	愛媛	8.7	青森	8.6
4	新潟	6.6	青森	7.9	三重	8.6	岡山	8.8	富山	8.9	愛媛	8.6	山形	8.8	富山	8.8	山形	8.8	徳島	8.6
5	和歌山	6.6	新潟	7.9	徳島	8.6	富山	8.9	徳島	9.0	熊本	8.7	富山	8.8	新潟	8.9	奈良	8.8	富山	8.7
6	奈良	6.7	愛媛	7.9	宮城	8.7	山形	9.0	山形	9.1	福井	8.8	青森	8.9	和歌山	8.9	新潟	8.9	岐阜	8.7
7	山形	6.7	石川	8.1	秋田	8.7	奈良	9.1	東京	9.1	群馬	9.0	千葉	8.9	佐賀	8.9	福井	8.9	三重	8.7
8	岩手	6.7	鳥取	8.1	富山	8.7	愛媛	9.1	岐阜	9.1	新潟	9.0	福島	9.0	山形	9.0	滋賀	9.0	岡山	8.7
9	福井	6.9	長崎	8.1	新潟	8.8	宮城	9.2	香川	9.1	大阪	9.0	東京	9.1	福島	9.0	徳島	9.0	愛媛	8.7
10	滋賀	6.9	京都	8.1	滋賀	8.9	千葉	9.2	佐賀	9.1	高知	9.0	石川	9.1	千葉	9.0	千葉	9.1	東京都	8.9
11	香川	6.9	千葉	8.2	鳥取	8.9	三重	9.2	岩手	9.2	長崎	9.0	岡山	9.1	三重	9.0	大阪	9.1	京都府	8.9
12	青森	7.0	三重	8.2	岡山	8.9	和歌山	9.2	兵庫	9.2	岐阜	9.1	長崎	9.1	大阪	9.0	熊本	9.1	大阪府	8.9
13	秋田	7.0	秋田	8.2	千葉	9.0	岐阜	9.3	奈良	9.2	香川	9.1	愛媛	9.2	岡山	9.0	北海道	9.2	熊本	8.9
14	群馬	7.0	福島	8.3	香川	9.0	熊本	9.3	岡山	9.2	北海道	9.2	茨城	9.3	香川	9.0	東京	9.2	神奈川	9.0
15	岐阜	7.0	大分	8.3	愛媛	9.1	岩手	9.4	長崎	9.2	埼玉	9.2	長野	9.3	熊本	9.0	石川	9.2	福井	9.0
16	宮城	7.1	香川	8.3	長崎	9.1	群馬	9.4	北海道	9.3	千葉	9.2	三重	9.3	東京	9.1	兵庫	9.2	香川	9.0
17	愛媛	7.1	島根	8.3	福島	9.2	東京	9.4	宮城	9.3	東京	9.2	大阪	9.3	長野	9.1	香川	9.2	長崎	9.0
18	岡山	7.1	岩手	8.3	大分	9.2	滋賀	9.4	三重	9.3	三重	9.2	熊本	9.3	岐阜	9.1	長崎	9.2	山形	9.1
19	兵庫	7.2	熊本	8.3	青森	9.3	香川	9.4	滋賀	9.3	滋賀	9.2	埼玉	9.4	北海道	9.2	宮城	9.3	滋賀	9.1
20	千葉	7.3	滋賀	8.3	島根	9.3	青森	9.5	大阪	9.3	山形	9.3	岐阜	9.4	滋賀	9.2	三重	9.3	奈良	9.1
21	熊本	7.3	宮城	8.3	岩手	9.4	埼玉	9.5	神奈川	9.4	茨城	9.4	滋賀	9.4	宮城	9.3	佐賀	9.3	佐賀	9.1
22	大分	7.3	長野	8.4	茨城	9.4	大分	9.5	長野	9.4	奈良	9.4	兵庫	9.4	神奈川	9.3	京都	9.4	北海道	9.2
23	高知	7.3	奈良	8.4	東京	9.4	福島	9.6	愛媛	9.4	山口	9.4	山口	9.4	奈良	9.3	和歌山	9.4	群馬	9.2
24	神奈川	7.4	和歌山	8.4	広島	9.4	茨城	9.6	福島	9.5	佐賀	9.4	北海道	9.5	山口	9.3	広島	9.4	千葉	9.2
25	京都	7.5	兵庫	8.5	神奈川	9.5	神奈川	9.6	群馬	9.5	福島	9.5	愛知	9.5	長崎	9.3	青森	9.5	愛知	9.2
26	鳥取	7.5	群馬	8.5	岐阜	9.5	兵庫	9.6	埼玉	9.5	神奈川	9.5	京都	9.5	埼玉	9.4	茨城	9.5	兵庫	9.2
27	埼玉	7.5	佐賀	8.6	奈良	9.5	広島	9.6	新潟	9.5	長野	9.6	和歌山	9.5	京都	9.4	群馬	9.5	宮城	9.3
28	愛知	7.6	岡山	8.6	和歌山	9.5	徳島	9.6	石川	9.5	京都	9.6	広島	9.5	兵庫	9.4	埼玉	9.5	広島	9.3
29	福島	7.6	岐阜	8.6	熊本	9.5	長野	9.7	京都	9.5	兵庫	9.6	大分	9.5	茨城	9.5	神奈川	9.5	埼玉	9.4
30	大阪	7.6	東京	8.7	埼玉	9.6	大阪	9.7	熊本	9.5	和歌山	9.6	群馬	9.6	愛媛	9.5	福岡	9.5	新潟	9.4
31	長崎	7.6	富山	8.7	長野	9.6	北海道	9.8	大分	9.5	福岡	9.6	神奈川	9.6	大分	9.6	福島	9.6	和歌山	9.4
32	佐賀	7.6	神奈川	8.7	佐賀	9.6	秋田	9.8	和歌山	9.6	大分	9.6	新潟	9.6	愛知	9.7	長野	9.6	福岡	9.4
33	広島	7.6	大阪	8.7	北海道	9.7	愛知	9.8	鳥取	9.6	宮城	9.7	島根	9.6	福岡	9.7	静岡	9.7	静岡	9.5
34	茨城	7.6	愛知	8.7	栃木	9.7	佐賀	9.8	秋田	9.7	富山	9.7	岩手	9.7	群馬	9.8	愛知	9.7	高知	9.5
35	鹿児島	7.7	鹿児島	8.8	鹿児島	9.8	鳥取	9.9	茨城	9.7	愛知	9.7	徳島	9.7	広島	9.8	岐阜	9.8	大分	9.5
36	東京	7.7	埼玉	8.8	群馬	9.8	山口	9.9	広島	9.7	広島	9.7	佐賀	9.7	青森	9.9	岩手	9.9	岩手	9.6
37	三重	7.8	広島	8.8	京都	9.8	長崎	9.9	愛知	9.8	岩手	9.8	宮城	9.8	静岡	9.9	山口	10.0	茨城	9.6
38	石川	7.8	宮崎	8.8	山口	9.8	宮崎	10.0	山口	9.9	宮崎	9.9	山梨	9.8	鳥取	10.0	宮崎	10.0	長野	9.6
39	島根	7.8	茨城	8.8	愛知	9.9	京都	10.1	福岡	9.9	鳥取	10.0	静岡	9.8	島根	10.0	栃木	10.1	宮崎	9.6
40	山口	7.9	山口	9.1	大阪	9.9	静岡	10.2	静岡	10.1	静岡	10.1	福岡	9.8	岩手	10.1	鳥取	10.1	山口	10.0
41	山梨	8.0	北海道	9.1	兵庫	9.9	福岡	10.2	高知	10.2	島根	10.1	宮崎	10.1	宮崎	10.2	大分	10.1	鳥取	10.1
42	北海道	8.0	高知	9.2	福岡	10.0	栃木	10.3	山梨	10.3	山梨	10.2	秋田	10.2	山梨	10.3	秋田	10.2	島根	10.2
43	宮崎	8.0	静岡	9.3	宮崎	10.2	鹿児島	10.4	島根	10.4	徳島	10.2	高知	10.3	高知	10.3	山梨	10.5	秋田	10.4
44	静岡	8.3	栃木	9.4	高知	10.3	高知	10.5	宮崎	10.4	鹿児島	10.3	鳥取	10.4	秋田	10.4	島根	10.5	鹿児島	10.4
45	福岡	8.4	福岡	9.4	静岡	10.5	島根	10.7	鹿児島	10.4	栃木	10.4	栃木	10.5	栃木	10.6	鹿児島	10.8	栃木	10.5
46	栃木	8.8	山梨	9.8	山梨	10.6	山梨	11.2	栃木	10.5	秋田	10.5	沖縄	11.1	鹿児島	10.7	高知	11.2	山梨	10.7
47	沖縄	9.3	沖縄	10.3	沖縄	10.9	沖縄	11.2	沖縄	10.9	沖縄	11.3	鹿児島	11.5	沖縄	11.0	沖縄	11.2	沖縄	10.9

資料:厚生労働省「人口動態統計」